

自昭和四年
至昭和十九年

第二別口

大同生命株式會社關係書類

三光株式會社
(元加島銀行)

十年保存

605
10/10 L. H. M. P. M. M.
3/2/2

5		4		3		2		1		編纂 番號
第 號	七 年 二 月 二 日	第 號	七 年 一 月 一 八 日	第 號	七 年 二 月 七 日	第 號	七 年 八 月 五 日	第 號	四 年 一 〇 月 一 八 日	回 議 日 付 及 番 號
	右重役兼任報告 並之に伴う 担保解除等之報告	重役改選報告 兼重役兼任報告 兼重役兼任報告 兼重役兼任報告		第一等營業及事業経過報告	大正七年八月五日 整理 第二十九號	大同前第五共済(信託株)株式 為之担保交換一件並其報告		第一等營業及事業経過報告		件 名 備 考

10		9		8		7		6		編纂 番號
第 號	百 年 八 月 二 日	第 號	九 年 八 月 一 〇 日	第 號	九 年 八 月 二 日	第 號	八 年 八 月 二 五 日	第 號	七 年 八 月 二 日	回 議 日 付 及 番 號
	三四(表一) 空時林王總會 一、決算案 原案可決 二、大同生命保衛會助成 十月日交付 三、重役再選 重任	空款變更 二、表上議案可決		三四(表一) 空時林王總會 一、決算案 原案可決 分		三四(表一) 空時林王總會 一、決算案 原案可決 分		三四(表一) 空時林王總會 一、決算案 原案可決 分	三四(表一) 空時林王總會 一、決算案 原案可決 分	件 名
										備 考

15		14		13		12		11		編纂 番號	
第 號	十一年十一月十七日	第 號	十一年九月十九日	第 號	十一年八月十九日	第 號	十一年二月二十日	第 號	十一年一月一日	回議日付及番號	
										件 名	
定款中一節變更 (第三十三條、三十四條中一節)		同定款加三十四條 變更 理事總會 一附議可決報告		力三四回定時臨時總會開催 議案決定報告 (十一年)年九月九日理事會附議		台社神大廣見員 岡山 新潟 及真柄、各支社、昇格七二二 件附議可決報告		定款 變更ニ関スル 議案 可決 (臨時理事會) 一附議可決 増設事			
										備 考	

20		19		18		17		16		編纂 番號
第 號	十三年九月十六日	第 號	十三年五月六日	第 號	十二年八月十六日	第 號	十二年八月十一日	第 號	十二年七月二十九日	回議日付及番號
	臨時株主總會，件 定款變更（新案ヲ案テ修正）	臨時株主總會，件 定款變更（新案ニ支張設置） 監查役選任（増田雷助）		臨時株主總會終了，件	三十五周年記念配當，件 株主 2000 當典 1000 社員 3000 納税者 3000				新種普通養老保險開始，件	件名
										備考

25		24		23		22		21		編纂 番號	
第 號	十五年一月二十九日	第 號	十五年十二月十五日	第 號	十五年八月十六日	第 號	十四年二月三日	第 號	十三年八月十九日	回議日付及番號	
臨時株主總會 件 宇都宮及水戸兩支那ラ侍合ニ新ニ宇都宮支店ヲ設 置件		臨時株主總會ノ件 取締役一名補缺選舉ノ件 坂原虎雄ヲ選任 取締役増出旨次ニ懸芳呈請呈件 取締役ニ一任		臨時株主總會ノ件 取締役一名補缺選舉ノ件 坂原虎雄ヲ選任 取締役増出旨次ニ懸芳呈請呈件 取締役ニ一任		臨時株主總會ノ件 取締役一名補缺選舉ノ件 坂原虎雄ヲ選任 取締役増出旨次ニ懸芳呈請呈件 取締役ニ一任		臨時株主總會ノ件 取締役一名補缺選舉ノ件 坂原虎雄ヲ選任 取締役増出旨次ニ懸芳呈請呈件 取締役ニ一任		臨時株主總會ノ件 取締役一名補缺選舉ノ件 坂原虎雄ヲ選任 取締役増出旨次ニ懸芳呈請呈件 取締役ニ一任	
		一五、四七、五七								備 考	

30		29		28		27		26		編纂 番號
第 號	十六年八月二十九日	第 號	十六年二月二十七日	第 號	十六年十月二十一日	第 號	十六年八月十九日	第 號	十五年五月二十八日	回議日付及番號
1件	第三九回定時株主總會開催		臨時株主總會1件 松本文部支店昇格		臨時株主總會1件 故監査役職因請返卸へ平癒金贈呈件		定時株主總會終了1件		臨時株主總會1件 商法改正ニ伴フ定款変更1件	件 名 備 考

35		34		33		32		31		編 號	
第 號	十九年六月二十一日	第 號	十八年九月二十二日	第 號	十八年八月二十八日	第 號	十八年七月十日	第 號	十七年六月十三日	回 議 日 付 及 番 號	
第四十二回定時株主總會、件 決算承認、件、利益金之分案決議、件 取締役監査役改選、件、定款申変更、件		第四十一回決算報告		第四十四回 定時株主總會終了、件 決算承認、件、利益金之分案決議、件 取締役及監査役改選、件		右重役異動ヲ八月、定時株主總會ニ附議スル、件		重役異動ニ關スル内報、件 右國又右衛門 社長ニ 平次真 副社長ニ 玄關正即、入部系藏 常務ニ 玄明喜一 取締役ニ		件 名	備 考

昭和四年十月十八日

日本銀行大阪支店

大阪支店 長代

整理部受付
4.10.21
1106

特別融通整理部主事殿

大同生命保險株式會社及加島信託株式會社ヨリ昨營業年度間ニ於ケル事
業經過別紙之通り報告有之候ニ付右寫御送付申上候也

特別融通整理部主事



別紙報告の大体右取支取の於て他取のレールをノ由ニテ
公表を採取上略日能取ノ元ノ有之様ニ以テ聞
部内回覧の上大星

日本銀行大阪支店

自昭和三年七月一日 事業經過報告書 大同生命保險株式會社
至 四年六月卅一日

一、概況

本期ノ前半ハ有價證券市價ノ活躍アリ、物價ハ米國ノ好況ヲ移シテ生
糸高ヲ始メトシテ漸騰ノ形勢ヲ辿リ、爲替相場亦回復ノ傾向ニ向ハント
シ内外ノ事情漸ク好轉ノ氣運ヲ觀取シ得ルニ至リタルモ後半ハ金輸出解
禁懸念ニ一般商取引ハ極度ニ手控ヘラレ財界ノ不況ハ益々甚シク特二期
末ニ至リテ證券市價ハ昭和二年金融恐慌以來ノ安値ニ低落スル等依然タ
ル不況不安裡ニ本期ヲ終レリ。

財界ノ大勢斯クノ如ク、生命保險業モ其影響ヲ免レス、契約ノ獲得ト
維持ニ相當ノ困難ヲ感シタルノミナラス、證券市價ノ値下リト金利ノ低
下トノ爲メニ資産運用ノ方面ニモ少ナカラサル打撃ヲ蒙リタリ、特ニ當
社ハ加島銀行ノ營業讓渡ニ關聯シテ種々ノ不便支障ヲ感シタルモ銳意社
業ノ進展ニ努力シタル結果新契約ニ於テ貳千七百餘萬圓ヲ擧ケ昨年度ニ
比シ純増加高六百八拾五萬五千餘圓、年末現在契約高二億四千四百餘萬圓

各年契約増加
大正14. 二二七〇〇円
15. 一三〇二二
16. 九六五五
17. 六八五五

日本銀行大阪支店

ニ達シ期末總資産五千七百萬圓ニ垂ントスルニ至レリ。

二、保險契約ニ關スル狀況

當社カ一昨年度以來賣出シタル特別養老保險ニ對スル四分五厘累加配當ハ本年度ニ於テ其實行期ニ入りタルタメ着々之ヲ實行スルニ至レリ、今後他社ノ高率配當主義ニ對抗シ保險契約獲得上種々便益ヲ得ルナラント思ハル。

本年度ニ於ケル新契約高ハ二千七百五十餘萬圓ニシテ前年度ニ比スレ

ハ約七百餘萬圓ヲ減少シタリ、解約並ニ保險料不拂ニヨル消滅高ハ一千七百六十六萬圓ニシテ前年度ニ比シ四百五十二萬餘圓ヲ減少セリ。保險金支拂ノ事由發生シタル契約ハ滿期ニヨルモノ一百三十萬五千餘圓、死亡ニヨルモノ二百三十三萬三千餘圓合計三百六十三萬八千餘圓ナリ、而シテ豫定死亡ニ對スル實際死亡ノ比率ハ六割七分六厘ニシテ前年度ニ比シ七分六厘ノ減少ニ當リ同業者中稀ニ見ルノ好成績ヲ示セリ。カクテ本年度ノ純増加高ハ六百八十五萬五千餘圓ヲ算シ年度末現在契約高ハ二億

最近五年

新契約高

大正十四年

一千七百六十六萬圓

大正十五年

一千七百六十六萬圓

大正十六年

一千七百六十六萬圓

大正十七年

一千七百六十六萬圓

大正十八年

一千七百六十六萬圓

日本銀行大阪支店

四千四百三十六萬七千餘圓ヲ計上スルニ至レリ。純増加高ハ昨年度ニ比スレハ二百八十一萬圓ノ減少ナレトモ財界ノ不況益々深刻ナリシト加島銀行營業讓渡ノ影響等ヲ考慮スレハ寧ロ相當ノ好成績ト云フヘク是惟フニ當社カ年來培ヒ來リシ信用ノ賜ナルヘシ。

三、資産及收支ニ關スル狀況

本期ハ金利低下シ資金ノ運用ニ相當困難ヲ感シタルモ當社ハ年來ノ堅實第一主義ノ下ニ經營シ敢テ資産ノ運用ニ焦セルコトナク其放資先ニ就テハ周到ナル調査ノ下ニ嚴選シ將來ニ禍根ヲ殘スカ如キコトナカラシメシカタメ最善ノ注意ヲ拂ヒタリ、サレハ當社ノ貸出ニハ殆ト回收ノ疑ハシキモノナク、不動産及有價證券ノ評價モ著シク時價ニ比スレハ低廉ニシテ各々百四、五十萬圓ノ評價益アリ今後ヨリ以上ノ不況襲來スルモ社礎ニ微動タモ感セサル處ナリ。

本年度ニ於ケル保險料收入ハ九百五萬四千餘圓ニシテ前年度ニ比シ十三萬二千餘圓ノ增收ニ當リ、所有有價證券、貸付金^等配當及利息ハ三

日本銀行大阪支店

百五十萬三千餘圓ニシテ前年度ニ比シ二十二萬一千餘圓ヲ増加シ其平均總資産ニ對スル運用利廻ハ六分四厘餘ニシテ前年度ノ運用利廻リ六分五厘餘ニ比スレハ約一厘ノ減少ナリ。資金運用難ノ今日尙此程度ノ利廻低下ニ止メ得タルハ寧ロ好成績ト謂フヘシ。事業費ハ極力節約ニ力メタル結果一百九十九萬一千餘圓ニシテ其收入保険料ニ對スル比率ハ二割二分弱ニ當リ前年度ニ比シ比率ニ於テ二分八厘弱、金額ニ於テ二十一萬八千餘圓ヲ減少セリ、又財界ノ大勢ニ稽ヘ益々資産内容ノ充實ヲ期スルタメ本年度利益金ヨリ約四十萬圓ヲ支出シ有價證券價額ノ銷却ヲナシタリ。斯クノ如ク本年度ハ環境ノ不良ナリシニモ不拘從業者一同ノ努力ニヨリ前年度ニ比シ八萬五千餘圓増ノ一百七十萬四千餘圓ノ純益金ヲ計上スルコトヲ得タリ。

次ニ來年度ニ於ケル豫想ヲ述ヘンニ當社トシテハ關係會社ノ整理モ一段落ツキタルコトナレハ益々契約者本位ノ經營方針ノ下ニ一意新契約ノ獲得維持ニ精進シ他面資産内容ノ充實ニ留意シ他日ノ飛躍ヲ期スル覺悟ナリ

自昭和五年七月一日
至昭和四年六月廿日
事業成績一覽表 (金額單位千圓)

	死亡保險		前年度比較	
	件數	金額	件數	金額
年始現在契約	二二七五四	二二七五二	(+)	九六六五
新契約	一七九二四	二七五一四	(+)	七一八四
其他增加	一四〇九	一八八二	(+)	一五四
保險金額支拂事由 完全之契約	四九六七	三六五八	(-)	一四〇
其他事由之契約 消滅之契約	一六八八六	一七九九二	(-)	一〇
保險金額減少	六一〇	九一	(-)	一〇
年未現在契約	二二二三四	二四四三六	(+)	二一八
純增加契約	一四八〇	六八五五	(+)	一八〇
年始支拂滿金		二六七	(-)	九
年始責任保單金		四二一八〇	(+)	一五
年始保險契約 利益配與保單金		五三五九	(+)	四
收入保險料		九〇五四	(+)	一五
收入諸利息		三三〇二	(+)	二
支拂保險金		三六四四	(-)	二
支拂保險契約 利益配與保單金		二〇七	(+)	二
保險金額及利益配與保單金 之保險契約之支拂金額		八六六	(+)	二
事業費		一九九一	(-)	一八
年未支拂滿金		二六五	(-)	二
年未責任保單金		四七〇九九	(+)	三
年未保險契約利益 配與保單金		五九二二	(+)	六

昭和四年六月末現在貸借對照表

(單位：千円)

資		負債	
科目	金額	科目	金額
現金及振替貯金	九	株券	三〇〇
銀行預金	四、六八一	法定準備金	三〇〇
貸付金	一一、四六九	責任準備金	四七、〇九九
有價證券	二七、七二三	保險契約利益 配當準備金	五、九〇六
信託有價證券	四、七八五	特別養老保險 契約利益配當金	一七
不動產	六、八五六	保險契約 特別配當金	七六
什器	一八〇	支拂備金	二六五
未收保險料	六三七	別段積立金	一、一〇〇
代理店貸	三八一	代理店借	四
假押金及假勘定	一〇〇	社員身元保證金	一七四
建築費勘定	一六四	假受金其他	三〇
合計	五六、九七五	利益	一、七〇四
	(+)	合計	五六、九七五
	四、七五五		(+)
	前年度比較		四、七五五
	(-)		(+)
	八		八五
	一、四五一		二一二
	一、五八七		三
	一、三四四		一
	八三七		六〇〇
	一七		二
	一九六		一七
	四〇		五四六
	三七		〇
	六八八		〇

自昭和四年七月一日
至昭和四年六月卅日

損益計算表 (單位千圓)

收入		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越	四九.九六一	保險金	三六.四四
保險料	九.〇五四	解約返戻金	八六.六
諸利息	五.五〇二	保險契約利益配分金	二〇.七
有價証券償還益	七.七	保險契約特別配分金	二〇.五
有價証券売却益	五.四	新當金	五.五
有價証券評價益	〇	純金	一五.四
使用人養老積立金	一〇.二	事業費	一九.九
雑益	三.二	有價証券評價損	四〇.五
合計	六二.七五四	不償還評價損	〇
(+)	三.九六二	引當評價損	一.八
合計	六六.七〇六	退職費没収分金	一.七
		退職積立金	二.〇
		雑損	〇.四
		次年度繰越	五.三
		当期利益金	一.七〇四
		合計	六六.七〇六
		(+)	三.九六二
		合計	七〇.六六八
		(-)	二.〇
		前年度比較	二.〇

整秘269
5.8.5.
發遣

審査會委員

昭和五年七月二十九日

幹事

日本銀行

總

裁

芳

特別融通整理部主事

副總裁

理事

承認
案

大阪支店

大正第六一號申請加島銀行之對立
補償法之係以特別融通ノ担保有價証券
中一部交換ノ件承認

昭和 年 月 日

總裁

日本銀行大阪支

大阪支店 長代



大營第六一號

昭和五年七月二十六日

總裁 殿

大同生命保險株式會社ノ盛衰ハ加島銀行ニ對スル補償法特別融通金ノ回
 收ニ至大ノ關係有之廣岡一族ニ於テモ同社ノ將來ニ付期待スル所多大ニ
 シテ廣岡社長ハ支店代理店實地視察ノ爲メ自ラ全國各地ニ出張シ親シク
 従業員ヲ指揮督勵スル等銳意業績ノ向上ト内容ノ充實ニ努力シ居リ全社
 ハカ、ル財界不況ノ折柄ニモ拘ラス漸次發展致居候處今般高給老齡ノ支
 店長級幹部四名ヲ勇退セシメ右ノ内元東京支店長岸本傳吉及元京都支店
 長江見濱五郎ノ貳名ヲ來ル八月ノ株主總會ニ於テ取締役ニ新任シ、又現
 監査役星野行則ヲ辭任セシメ、現取締役廣岡松三郎ヲ監査役トシ此際社
 内人心ノ一新ヲ計リ、新陣容ノ下ニ更ニ一變ノ發展策ヲ講スル様致度趣

No. 6.

日本銀行大阪支店

ニ御座候就テハ新取締役貳名カ監査役ニ供託スヘキ信認株五拾株宛ヲ夫々名義書換致度此際合計百株ヲ必要トスルモ壹名ニ對スル割當株式五拾株ニ付テハ今回取締役ヲ辭任シ監査役トナルヘキ廣岡松三郎名義株ヲ新ニ擔保ニ提供スヘキニ付結局補償法特別融通擔保同社株式五拾株ヲ左記公債ト擔保差入換相成度旨願出有之候右兩名ハ何レモ支店長トシテ在職貳拾餘年ニ亘リ全社ニ對スル功勞少ナカラス優遇シテ取締役ニ昇任セシメ延テ從業員ニ希望ヲ與ヘ其士氣ヲ鼓舞スルハ全社一層ノ發展ヲ期スルニ當リ誠ニ不得已儀ト被存候間前記願出ノ趣特ニ御承認相成候様御詮議相仰度此段稟申候也

追テ取締役辭任其他ノ事由ニ依リ右株式カ不要ト相成候場合ニハ再ヒ補償法特別融通擔保トシテ差入レ今回差入ルヘキ公債ノ返戻相受度旨併セテ願出居候間右擔保再々交換ノ儀ハ其際改メテ申請可申候

尤モ今回解除スヘキ五拾株モ從前ノ信認株三百株ト同様ニ其返還請求權ヲ
本行ニ貸入センメ置キ大目生命株ニ換ヒ分ニ便宜様所斗ノ案ニ付

日本銀行大阪支店

記

有價證券擔保壹千拾參萬圓口

一、受 入

甲號五分利公債 額面七六〇〇〇圓 時價 @ 九一八〇

此擔保價額 六九七六八圓

二、拂 戻

大同生命保險株 五拾株 一株一五五〇・九掛

此擔保價額 六九七五〇圓

以上

大同生命
總株數 6,000 株
內大同株 5,973 株
所有
補償相保 5,671 株
瓦入
信託株 300 株
(取札)

出口單據處理在場 10,130,000.-
担保

加島信託株 12 股	201,210	2,264,287.-
大同生命株 50.-	5,671	7,911,045.-
		10,175,332.-

日本銀行

大日本生命保險費約高

現在高

追加高(前年)

15.6 215,724.000 22,710.000

2.6 227,847.000 12,124.000

3.6 237,512.000 9,665.000

4.6 244,367.000 6,855.000

5.5 251,150.000 6,783.000

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

大當第六一號ノ二

昭和五年七月二十六日

大改支店長代



特別融通整理部主事殿

特別融通整理部主事



加島銀行ニ對シテ補償法特別融通金巻干
檢査系口担保大同生命保險株式會社
株式ノ担保交換拂出ノ件本日稟申仕ル處
右御承認ノ上担保解除相受ケ新取締役ノ
信認株ト致スベキ同社株式五拾株ニ付キテ
ハ其返還請求權ニ對シ質權ヲ設定致

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

サレテ置可申、其取締役、辞任其他ノ
事由ニヨリ株式不要ト相成候節、再ニ
担保ニ提供セシムルノ候間、右様御承知
置被下度、此段得貴意候也

昭和 年 月 日

大營第七六號

昭和五年八月二十八日

日本銀行大阪支店

大阪支店長代



特別融通整理部主事

總裁 殿

八月五日附整秘第二六九號御承認ノ加島銀行ニ對スル補償法ニ依ル特別
融通千拾參萬圓口擔保中一部交換ノ件本日左記ノ通り實行致候間此段御
報告申上候也

記

有價證券擔保千拾參萬圓口

一、受 入

甲號五分利公債

額面七六七〇〇圓

時價九〇九五

此擔保價額

六九七五八

申請多時

担保價額

69,768-

※申請多時七六〇〇四元七毛時價低落ノ為七〇〇円増加入

No. 6.



一、拂 戻

大同生命保險株

此擔保價額

五〇株

六九七五〇圓

1860.
90%。

日本銀行大阪支店

以 上

大營第七七號

昭和五年八月二十八日

日本銀行大阪支店

大阪支店長代



特別融通整理部主事殿

特別融通整理部主事

八月五日附整秘第二六九號御承認ニ基キ加島銀行ニ對スル補償法ニ依ル特別融通擔保大同生命保險株一部交換ノ件本日實行致候處擔保解除致候同株式五拾株ハ同社新取締役ノ信認株ト相成候ニ付其返還請求權ハ有價證券擔保千拾參萬圓口ノ擔保トシテ之ヲ提供セシメ置候間左様御承知被下度此段得貴意候也

※大同生命加島信託擔保口

大營第九五號

昭和五年十一月七日

日本銀行大阪支

大阪支店長代



特別融通整理部主事殿

特別融通整理部主事



大同生命保險株式會社ヨリ昭和四年七月一日ヨリ昭和五年六月三十日ニ
至ル營業年度ノ事業成績ニ付キ別紙ノ通り報告有之候間右寫御送付申上
候也

日本銀行大阪支店

一、概況

本期ハ金解禁ト世界的不景氣ノ影響トニヨリ財界カ甚シキ不況裡ニ終始セル爲メ生命保險界モ亦其影響ヲ免ル、コト能ハス新契約ノ募集ニ支障ヲ生シ舊契約ノ維持ニモ多大ノ困難ヲ感セシメタルカ殊ニ産業界極度ノ不振ニ依リ資金ノ需要甚シク減退セルト共ニ證券市價崩落シタルカタメ資産運用方面ニ於テ甚大ノ打撃ヲ與ヘタリ。

當社ハ幸ニ全社員一致ノ努力ニヨリ斯ノ如キ時期ニ際會シ乍ラ尙能ク前年以上ノ新契約ヲ獲得シ期末契約高ヲシテ五百五十餘萬圓ヲ増シ約二億五千萬圓ヲ算スルニ至ラシメ他面内ニ在リテハ極力經費ノ節約ニ努メ能率ノ増進ヲ計リ以テ契約高ノ増加ニ拘ラス事業費ニ於テ八萬餘圓ヲ減少セシムルコトヲ得タリ。

唯有價證券ハ市價暴落ノ結果三百六十餘萬圓ノ評價損ヲ計上スルノ餘儀ナキニ至リ其一部ノ補填ヲ積立金ノ戻入ニ俟タサルヘカラサルニ至レルハ遺憾トスル所ナリ。

日本銀行大阪支店

二、保險契約ニ關スル事項

本年度新契約高二千八百三十六萬餘圓ニシテ前年度ニ比シ約八十五萬圓ヲ増加シ、解約並ニ保險料不拂ニ依ル消滅高ハ二千六十四萬餘圓ニシテ前年度ニ比シ約二百六十五萬圓ヲ増加セリ。

保險金支拂ノ事由發生シタル契約ハ四百九萬餘圓ニシテ内滿期ニヨルモノ百五十一萬餘圓死亡ニヨルモノ二百五十七萬餘圓ナリ而シテ其豫定死亡ニ對スル實際死亡ノ比率ハ七割二分九厘ニシテ前年度ニ比シ五分三厘ノ増加ナリ。

斯クテ本年度ノ純増加高五百五十六萬餘圓ヲ算シ年度末現在契約高ハ約二億五千萬圓ニ垂々トスルニ至レリ。

三、收支計算ニ關スル事項

本年度保險料ノ收入ハ九百四十一萬餘圓ニシテ前年度ニ比シ三十五萬餘圓ヲ増シ、諸利息ハ三百五十六萬餘圓ニシテ前年度ニ比シ六萬餘圓ヲ増加セリ。而シテ平均總資産ニ對スル利廻ハ六分一厘四毛ニ當レリ。

日本銀行大阪支店

事業費八百九十萬餘圓ニシテ収支保険料ニ對スル割合ハ二割強ヲ示シ前年度ニ比シ金額ニ於テ約八萬五千圓、比率ニ於テ約二分ノ減少ヲ示シタリ。有價證券ノ低落ニ對シテハ極度ノ切下ヲ斷行シ評價損トシテ三百二十五萬餘圓ヲ支出シ以テ資算内容ノ充實計レリ。

自昭和四年七月一日
至昭和五年六月卅日
事業成績一覽表

	死亡保險		前年比較	
	件數	金額	件數	金額
年始現在契約	二二三	二四四,三六七	(+)	六,八五五
新契約	一八八	二八,三六一	(+)	八四六
其他增加	一八一	二九,二三三	(+)	一,〇四〇
保險金額支拂事由 發生シタル契約	五四一	四〇,〇九一	(-)	四,五二
其他事由ニ因リテ 消滅シタル契約	一三八	二〇,六四六	(+)	二,六五三
保險金額減少	(六五二)	九七八	(+)	六七
年末現在契約	二二四,六一〇	二四九,九三五	(+)	五,五六七
純增加契約	一三七六	五,五六七	(-)	一,二八七
年始支拂備金		二六五	(-)	三,九一九
年始責任準備金		四七,〇九九	(+)	五四六
年始保險契約 利益配當準備金		五,九〇六	(+)	一七
年始特別養老保險契約 利益配當金		一七	(+)	三五九
收入保險料		九,四一四	(+)	六二
收入諸利息		三,五五五	(+)	四二六
支拂保險金		四,〇七〇	(+)	二九
支拂保險契約 利益配當金		二,三三六	(+)	一八
支拂特別養老保險契約 利益配當金		一一	(-)	八四
保險金額及利益配當金 外保契約の因リ支拂シタル金額		一,〇八四	(-)	二二
事業費		一,九〇六	(-)	三,五三三
年末支拂備金		二四二	(+)	四七九
年末責任準備金		五〇,五三三	(+)	三,五三三
年末保險契約 利益配當準備金		五,四〇三	(+)	二七
年末特別養老保險契約 利益配當金		三七	(+)	二七

昭和五年六月卅日 貸借對照表

		資				負債			
科目	金額	前年比較	科目	金額	前年比較				
現金	—		株金	三〇〇	〇				
郵便振替貯金	一二	(+)	法定準備金	三〇〇	〇				
銀行預金	四、六〇八	(-)	責任準備金	五〇、六三二	(+) 三、五三三				
金銀信託	三〇〇	(+)	保險契約利益配當準備金	六、四〇三	(+) 四七九				
貸付金	一四、七六三	(+)	特別養老保險契約利益配當金	三七	(+) 三七				
有價證券	二六、三四八	(-)	保險契約特別配當金	七二	(-) 三				
信託有價證券	四、九一四	(+)	支拂備金	二四二	(-) 二三				
不動產	六、八九六	(+)	別段積立金	〇	(-) 一一、一〇〇				
什器	一九七	(+)	使用人養老積立金	二六	(+) 二六				
未收保險料	六二三	(-)	代理店借	四	(+) 一				
代理店貸	三三一	(-)	社員身元保證金	一六二	(-) 一一				
反拂金	八三	(-)	反受金	八六	(+) 五五				
反勘定	九	(+)	大同生命保險金 即成金						
建築費勘定	七二	(-)	利益	八九三	(-) 八一〇				
合計	五九、一六二	(+) 二、一八四	合計	五九、一六二	(+) 二、一八四				

自昭和四年七月一日
至昭和五年六月卅日
損益計算書

科目		金額	前年比較	科目	金額	前年比較
前年度繰越金	五四二五	(+)	四二五三	保險金額	四〇七〇	(+)
利益	一一六	(-)	二	死亡保險金	二五五一	(+)
責任準備金	四七〇九九	(+)	三九一九	瑞期保險金	一五一九	(+)
保險契約利益	六六四〇	(+)	五二四	解約返戻金	一〇八四	(+)
配當準備金	一七	(+)	一七	保險契約利益	二三六	(+)
特別養老保險契約利益配當金	七六	(-)	二〇二	配當金	一二	(+)
保險契約特別配當金	二六五	(-)	一	特別養老保險契約利益配當金	三三	(-)
支拂備金	九四一四	(+)	三五九	義濟金	一一三	(+)
保險料	三五六五	(+)	六二	稅金	一九〇六	(-)
諸利息	一四五	(-)	七三	事業費	八六八	(+)
預金利息	九二九	(+)	一一四	社費	二七三	(+)
金銭信託収益	一九〇〇	(+)	九五	代理店手数料	一九七	(-)
貸付金利息	二六一	(-)	八	紹介手数料	四四六	(-)
有償証書	三〇七	(-)	六三	其他契約費	一一〇	(-)
信託有償証券	四	(-)	四	醫師報酬	三六五四	(+)
不動産収益	一六	(+)	二	財產償却損	一五八	(+)
貸付金利息	四	(-)	四	財產償却損	三三	(-)
保險料延滞利息	一六	(+)	二	退職社員養老金	一五八	(+)
其他	五	(-)	七二		三三三	(+)
財產償却益	一四二	(+)	八八	雜損	一〇	(-)
財產償却益	三九八	(+)	三九八		一〇	(-)
繰入使用人	三三	(-)	六九	次年度繰越金	五七三八八	(+)
養老積立金	一八〇〇	(+)	一八〇〇		三三三	(+)
別段積立金	一	(-)	三	當期利益金	八九三	(-)
雜益	一	(-)	三		一八一〇	(-)
合計	六九五七五	(+)	六八一七	合計	六九五七五	(+)

大管第五號

昭和七年一月十八日

日本銀行大阪支店
大阪支店 長代

整理部受付
7.1.21
第44號

總裁



副總裁



總裁 殿

特別融通整理部主事



理事



大同生命保險株式會社ハ廣岡一族ヲ首メ社員一同ノ努力ニヨリ漸次發展致居候處更ニ社内人心ノ一新ヲ計リ新陳容ノ下ニ一段ノ發展ヲ期スル爲メ今般一部重役ノ改選ヲ行フコト、相成リ來月一日臨時株主總會ヲ開催取締役祇園清次郎同江見濱五郎監查役加輪上勢七同進藤隆之助辭任シ其後任トシテ營業部長入部泰藏及弘益殖產株式會社並ニ大隈鑛業株式會社取締役増山富次ヲ取締役ニ、祇園清次郎(元京都支店長)江見濱五郎ヲ監查役ニ選任スル趣ニ御座候

右御報告申上候也

右、通り一部入替ル事、セシモ今社業務ハ従前如常務事決意以テ
才ヲ執ル由スル

拜啓時下愈々御清祥之段奉賀候

陳者來ル貳月壹日午前拾時ヨリ本社ニ於テ臨時株主總會開催左記事項ニ
付決議致度候間御出席相成度此段御通知申上候
敬具

昭和七年壹月拾六日

大阪市西區土佐堀通壹丁目壹番地

大同生命保險株式會社

取締役社長 廣岡惠三

株主

殿

追而當日御出席難相成場合ハ乍御手数別紙委任狀ニ御記名ノ上豫
而御届出ノ御印章押捺來ル貳拾九日迄ニ當方へ到着致候様御發送
相願度候

左記

會議ノ目的タル事項

第一、取締役祇園清次郎、同江見濱五郎及ヒ監査役加輪上勢七、同進

藤隆之助以上四氏各辭任ニ付補缺選舉ノ件

第二、退任取締役並ニ監査役ニ對シ謝意ヲ表スル件

以上

昭和七年二月二日

特別融通整理部主事殿

日本銀行大阪支店

大阪支店 長代



特別融通整理部主事

一月十八日附大營第五號ヲ以テ御報告申上置候通り大同生命保險株式
 會社ハ昨日臨時株主總會ヲ開催取締役及監査役ノ補缺選舉致候處取締
 役ニ入部泰藏（營業部長）増山富次（弘益殖産株式會社並ニ大隈鑛業
 株式會社取締役）、監査役ニ祇園清次郎江見濱五郎（何レモ元取締役）
 選任セラレ夫々就任スルコト、相成申候就テハ祇園及江見元取締役ノ
 信認株百株ニ對スル返還請求權ノ擔保解除ヲナ^{石株式ヲ}補償法特別融通有價
 證券擔保壹千拾參萬圓口ノ擔保トシテ差入レタメ尙同口擔保入部及増
 山名義株百株ハ信認株トシテ監査役ニ供託スル爲メ擔保解除致候ニ付

Handwritten notes in the left margin.



日本銀行大阪支店

前者ノ信認株返還請求權ハ有價證券擔保壹千拾參萬圓口ノ蔭擔保トシ

（大口生息ノ易付託株担保ノ口）

テ又後者ノ信認株返還請求權ハ信用手形擔保貳千百五拾七萬九百圓口

（川岸三郎手形）此ノ口ナリ（口）

ノ蔭擔保トシテ夫々提供セシメ置候

右御報告申上候也

日本銀行大阪支店

大阪支店 長代

昭和七年八月二十二日

總裁

副總裁

特別融通整理部主事

特別融通整理部主事殿

理事

大同生命保險株式會社ハ本年創業三十週年ニ相當リ候ニ付株主及保險契

約者ニ夫々紀念特別配當可致豫定ニ御座候處社礎ノ確立ヲ期スル爲メ此

際株主ニ對シテハ特別配當ヲ見合ハセ保險契約者ニ對シテノミ豫定通り

特別配當ヲナスコト、致シ本月二十四日開催ノ定時株主總會ニ左記利益

處分案ヲ附議致度趣ニテ之カ承認方願出有之候

同社ハ廣岡社長以下當局者ノ努力ニ依リ此不況時ニモ拘ラス業績比較的

順調ニ進展シ株主ニ對スル特別配當ハ強チ不可能ナル程ニテモ無之候共

増加

七印の日未取
二六、九、二五、二、四、何
一〇、〇、〇、九、千、何

為内訳詳細提出有之
詳細あり可調可致

整理部交付
7.8.23
第530號

日本銀行大阪支店

同社ノ將來ヲ慮リ此際之ヲ見合ハスコト、シ又保險契約者ニ對スル特別配當ハ保險契約獲得ニ際シ豫約セル如キモノナレハ信用ノ維持上之ヲ實行セントスルモノニ有之其他ハ從來ト大差ナク特ニ變更セシムル程ノコトモ無之様認メラレ候間右願出ノ趣承認致置候
尙同日ノ總會ニ於テ故取締役岸本傳吉氏ノ後任トシテ加輪上勢七氏選任セラル、コトニ内定致居候趣ニ御座候
右御報告申上候也

記

一、當期利益金 一、七八九二二四〇九圓

此ヲ處分ノスルコト左ノ如シ

保險契約利益配當準備金 二五六一〇〇三圓八

日本銀行大阪支店

株主配當金(年八分)	二四〇〇〇〇
役員賞與金	六〇〇〇〇
創業者の功績 使用人養老積立金	六〇〇〇〇
創業三十週年紀念 保險契約利益配當金	一、二〇〇〇〇〇
次年度繰越金	一八九一二三七一
計	一、七八九二二四〇九

日本銀行五週年紀念
昭和二年(昭和二年)の功績

役員賞與金 一、〇〇〇、〇〇〇
 創業者の功績 二〇〇、〇〇〇
 使用人養老積立金 七〇、〇〇〇
 創業三十週年紀念 一、二〇〇、〇〇〇
 保險契約利益配當金 一、八九一、二三七一
 計 一、七八九、二二四〇九

十九日午回の功績表記載の通り

昭和七年八月二十四日

日本銀行大阪支店

大阪支店 長代

特別融通整理部主事殿

特別融通整理部主事



本月二十二日附ヲ以テ御報告申上候通り大同生命保
 時株主總會ヲ開催シ別紙議案ヲ附議致候處第一號及第二號議案ハ孰レモ
 異議ナク原案可決、第三號議案ハ廣岡久右衛門、加輪上勢七兩氏取締役
 ニ、廣岡松三郎、江見濱五郎兩氏監査役ニ夫々選任就任、第四號議案ハ
 取締役會一任ト相成候趣ニ御座候
 右御報告申上候也

會議ノ目的タル事項

第一

昭和六年度事業報告書、財産目錄、貸借對照表並ニ
損益計算書目承認(別段積立金繰入ヲ含ム)ノ件、

第二

昭和六年度利益(別段積立金ヲ含ム)處分ニ關スル決議ノ件

第三

取締役廣岡久右衛門、監查役廣岡松三郎、同江見濱五
郎三氏各任期滿了ニ付改選並ニ取締役一名補致

第四

選舉ノ件、
故取締役岸本傳吉氏退任ニ付謝意ヲ表スル件
以上(元東高多長)

大同生命保險株式會社
 第參拾回決算報告
 (自昭和六年七月一日起
 至同七年六月三十日止)

◎貸借對照表

資產之部

負債之部

現金	279.98	株金	200.00
郵便振替貯金	20,357.54	法定準備金	300.00
銀行預金	23,325.66	責任準備金	56,215.99
金錢信託	300.00	準備金	7,075.54
貸付金	21,390.88	特別準備金	1,692.67
有價証券	18,731.54	保險契約特別利益	6,883.54
信託有價証券	4,951.54	支拂準備金	33,082.54
不動產	7,584.66	代理店勘定	4,293.00
什器	20,199.54	社員身元保証金	1,963.81
未収保險料	5,967.33	飯食金	3,590.33
代理店勘定	3,778.00	未經過利息	1,988.67
合計	66,679.52	合計	66,679.52
仮拂金	8,670.49	利息	1,789.24
仮勘定	14,282.74	合計	1,789.24
建築費	9,689.75		
合計	66,679.52		

◎損益計算

收入之部

支出之部

前年度繰越金	15,244.60	保險金	42,905.75
前年度繰越金	53,878.19	解約返戻金	18,207.19
前年度繰越金	7,379.91	特別準備金	2,684.66
前年度繰越金	8,723.80	特別準備金	6,883.54
前年度繰越金	6,955.10	特別準備金	715.00
前年度繰越金	3,139.10	特別準備金	65.00
前年度繰越金	70,000.00	特別準備金	1,842.39
前年度繰越金	9,646.86	特別準備金	2,560.33
前年度繰越金	70.00	特別準備金	985.40
前年度繰越金	3,948.57	特別準備金	1,870.50
合計	92.00	合計	38.00

財產價遺益	一、一三八三	九一〇	九六五〇・一	〇〇〇
財產賣却益	四一六〇・四	二二〇	一一三三一	五四四
財產評價益	三、五九四七三	六七〇		
雜益	六〇、〇〇〇	〇〇〇		
雜損	二七一	八九二		
合計	七、六六四九四	四四四	七、四八六、七二〇	五五四

差引利益金 壹百七拾八萬九千貳百貳拾四圓九錢

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

保險契約利益準備金 貳拾五萬六千壹百圓參拾八錢

株主配當金(年八朱) 貳萬四圓

役員賞與金 六萬圓

使用人養老積立金 六萬圓

差引金 壹百參拾八萬九千壹百貳拾參圓七拾壹錢

內
 創立三十周年記念
 保險契約特別配當金
 次年度へ繰越

壹百貳拾萬圓

拾八萬九千壹百貳拾參圓七拾壹錢

昭和八年八月廿五日

日本銀行大阪支店

大阪支店長

特別融通整理部主事殿

特別融通整理部主事

大同生命保險株式會社ハ本日定時株主
總會ヲ開催 別紙議案ヲ附議致候
処第一號乃至第三號議案ハ孰レモ
異議ナク原案可決、第四號議案取
締役廣岡惠三、平澤真、松井萬緑、
加輪上勢七、増山富次、入部泰藏並ニ
監査役 祇園清次郎、各任期満了ニ付

昭和 年 月 日

整理部受付
8.8.28

日本銀行大阪支店

改選、件ハ全員再選就任スルコト、相成ル
趣ニ御座候
右御報告申上候也

八年六月末迄の繰高

二八、二、五三、〇〇〇

追当一年間の

一五、〇〇〇、七七五

既増加高

前年迄

一〇、〇、九八七五

三、一
大俵好調、打込ニ依ルニ、如クニ
詳細内訳可表候則、来トモ可調可致ス

昭和 年 月 日

會議ノ目的タル事項

- 第一 自昭和八年三月三十一日年度事業報告書、財産目錄、貸借對照表、並ニ損益計算書承認ノ件
- 第二 自昭和八年三月三十一日年度利益處分ニ関スル決議ノ件
- 第三 前號ノ決議ニヨリ生ジタル別段積立金中ヨリ大同生命保健會ニ對シ助成金ヲ支出スルノ件
- 第四 取締役廣岡惠三、平澤眞、松井萬綠、加藤上勢七、増山富次、入部泰藏、六氏並ニ監查役松岡清次郎氏各任期滿了ニ付改選ノ件

以上

自昭和七年七月壹日 至昭和八年六月拾日 事業成績一覽表

項目	件數	金額
年始現在契約	二三〇、八六五	二六六、四五二、七五
新契約	三五、一九八	四五七、五四〇、〇〇
其他ノ増加	二、三一〇	三〇、一四二、二五
其ノ他ノ減少	六〇、三七七	四九五、三七〇、〇〇
保險金額ノ減少	二〇、〇七八	二七一、八八一、〇〇
年未現在契約	二四二、一八七	一六二、四八五、〇〇
絶増加契約	一、三九三	二八、四五三、〇五〇
年始支拂備金	一、三九三	一五〇、〇一七、七五
年始責任準備金	三三〇、八二五、二四〇	
年終責任準備金	五六二、一六五、九九四、〇〇	
年終支拂備金	七〇、七七〇、五四六、九〇	
年終特別養老保險金	一六九、二六七、五五〇	
年終特別養老保險金	一〇、〇六九、七五、四八	
年終特別養老保險金	四二〇、三二五、六七一、〇〇	
年終特別養老保險金	四九三、三七〇、〇〇、〇〇	
年終特別養老保險金	三六二、七九一、六〇、〇〇	
年終特別養老保險金	一三三、二二四、二七、〇〇	
年終特別養老保險金	一四九、八二八、三九、〇〇	
年終特別養老保險金	六四六、〇八七、二六五、〇〇	
年終特別養老保險金	四七四、二六八、一七、〇〇	
年終特別養老保險金	五九、一四九、九三九、二七、〇〇	
年終特別養老保險金	六九七、〇三六、三四七、〇〇	
年終特別養老保險金	四八二、五八四、七六、〇〇	

項目	金額
收入諸利息	四二〇、三二五、六七一、〇〇
支拂保險金	四九三、三七〇、〇〇、〇〇
支拂保險契約利益配當金	三六二、七九一、六〇、〇〇
支拂特別養老保險金	一三三、二二四、二七、〇〇
支拂特別養老保險金	一四九、八二八、三九、〇〇
支拂特別養老保險金	六四六、〇八七、二六五、〇〇
支拂特別養老保險金	四七四、二六八、一七、〇〇
支拂特別養老保險金	五九、一四九、九三九、二七、〇〇
支拂特別養老保險金	六九七、〇三六、三四七、〇〇
支拂特別養老保險金	四八二、五八四、七六、〇〇

備考
 保險金額支拂ノ事由發生シタル契約中ニ計上シタル
 倍及養老保險契約ノ満期保險金八千五百圓ハ支拂保
 險金ノ欄ニ於テハ支拂額七千圓トシテ計上セリ

大同生命保險株式會社
第拾壹回決算報告

(自昭和七年七月壹日
至昭和八年六月拾日)

◎貸借對照表

資產之部

負債之部

現金	三三九	五八〇	株	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
郵便振替貯金	二三八四一	五一〇	法定準備金	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
銀行預金	三一九三六三五	二二〇	責任準備金	五九,四九九三九	二七〇
金錢信託	三〇,〇〇〇	〇〇〇	保險契約利益	六九七,〇三六三	四七〇
貸付金	二〇,七四七九三三	一〇〇	特別養老保險契約利益	四八,三五八四	七六〇
有價証券	三一〇,五三六七三	七九〇	特別養老保險契約利益	三〇,〇六四三	七八〇
信託有價証券	五八一,一六〇	五二〇	支拂準備金	四七四,二六八	一七〇
不動產	七七七八〇	四五〇	代理店勘定	四四一三	四三〇
什器	一八,五四二	六八〇	社員身元保証金	一九九五,一五	八四〇
未收保險料	四七八六,一三	二三〇	反受金	六四,〇四	〇〇
代理店勘定	三六,九四八二	八五〇	未經過利息	一七,〇三五	八〇
合計	七,〇二四,五七七	三七〇	合計	七,〇二四,五七七	三七〇

反拂金	五三,六三三	七一〇	利息	一六,〇三三	四七
反勘定	一四,〇四八	七三〇	合計	七,〇二四,五七七	三七〇
合計	七,〇二四,五七七	三七〇			

◎損益計算

支出之部

前年度繰越利益金	一八九,一二三	七一〇	保險金	四九三,三七〇	〇〇〇
前年度繰越準備金	五六二,一五九	九四〇	解約返戻金	一四九,八八八	三九〇
前年度繰越特別利益金	七三三,一五五	〇七〇	特別養老保險契約利益	三六,二七九	一六〇
前年度繰越特別利益金	一六九,二六七	五五〇	特別養老保險契約利益	一三三,二二四	二七〇
特別利益	一六八,八三五	七三〇	特別養老保險契約利益	九六,八一九	九五〇
特別利益	一三〇,八二五	二四〇	特別養老保險契約利益	五六,〇六	四四〇
特別利益	一〇,〇六九	七五	特別養老保險契約利益	二〇,六四八	一二〇
特別利益	六三三	八一〇	特別養老保險契約利益	四六,〇八七	六五〇
特別利益	四二〇,三五六	七一〇	特別養老保險契約利益	九五,一九	〇〇〇
特別利益	二二,二四七	九四〇	特別養老保險契約利益	四六,一七七	九七〇
特別利益	七三,六一六	四七〇	特別養老保險契約利益	八三,七六七	〇〇〇
合計	七,〇二四,五七七	三七〇	合計	七,〇二四,五七七	三七〇

財産評價益
繰上り養老
積立金
雑益

三三五一七七
六〇〇〇〇
二六〇
三三〇

謝辞
損

二八五三五九
一三八八〇
四六一

合計

八〇四、四九七、四四一

合計

七八三五、八五四〇

剰餘金

貳百五萬貳千八百八拾九圓壹錢

特別養老保険契約利益配當金

四拾四萬六千五百四拾壹圓四拾八錢

差引利益

百六拾萬零參百零七圓五拾參錢

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

保險契約利益配當準備金 參拾萬五百七拾四圓參拾九錢

株主配當金(年八末) 貳萬四千圓

役員賞與金 七萬圓 (前年六万圓)

使用上養老積立金 六萬圓 (前年四萬圓)

別段積立金 九拾萬圓

次年度へ繰越 拾七萬壹千七百七拾參圓拾四錢

一前記別段積立金内金拾萬圓ヲ大同生命保健會助成金トシテ支出スルコトニ可決セリ

昭和九年八月二十二日

日本銀行大阪

大阪支店長

代 徳田

整理部受付
9.8.25

特別融通整理部主事殿



大同生命保険株式會社ハ本日第三十二回定時株主總會ヲ開催、別紙議案ヲ附議致候處第一號乃至第三號議案ハ原案可決セラレ第四號議案監査役二名任期滿了ニ付改選ノ件ハ再選ト相成候此段及御報告候也

尙第三號議案タル別段積立金中ヨリ大同生命保健會ニ對シ助成金ヲ支出スルノ件ハ前年度同様十萬圓ヲ支出スルノ趣旨ナル由ニ御座候

火保險加入者ヲ幸レシテ
治療スル病院ヲ延子ニ依ル
株式會社ニシテ毎年十萬圓包者
御助ヲ要スル旨ノ事

高内課中表紙別表ニ詳細取調可也

會議、目的タル事項

第一

昭和九年七月一日年度事業報告書、財産目錄、貸借對照表、

並ニ損益計算書承認、件

第二

自昭和八年七月一日年度利益處分ニ關スル決議、件

第三

別段積立金中ヨリ大同生命保健會ニ對シ助成金ヲ支出スル件

第四

監査役廣岡松三郎、江見濱五郎兩氏各任期滿了ニ付
改選、件

以上

自昭和八年七月壹日
至昭和九年六月拾日

事業成績一覽表

項目	件數	金額
年始現在契約	二四二、二五八	二八、四三三、〇五〇
新契約	四二、〇二四	五、〇五五、五五〇
其他、增加	五九五	六、六六七、五〇〇
保除金額、減少	六一二五	五、一九八、三七五
年未現在契約	一八九六三	二四、八三八、四〇〇
純增加契約	二〇、二二	一、三八五、七〇〇
年始支拂備金	二五九、七八九	三、〇七一、二八〇
年始責任準備金	一七五三一	二、〇五九、七五〇
年始保費準備金		四、七四二、六八一七〇
年始特別養老保險金		五九、一四九、九三九二七〇
年終保費準備金		六、九七〇、三六三、四七〇
年終特別養老保險金		四八二、五八四、七六〇
收入諸利息		一、〇五、六四三、七三四
支拂保險金		四、三九五、七二二、九二〇
支拂保險契約利益配當金		五、一九二、六九五〇〇
支拂特別養老保險金		三七三、八三三、三四〇
支拂特別養老保險契約利益配當金		二、二四二、二〇九、八九〇
保除金額及利益配當金、外保除契約、因リテ支拂ヒタル金額		一、三〇、九七五、四六一〇
事業費		二、七三〇、一八三、三四〇
年未支拂備金		四八二、八一、一四四〇
年未責任準備金		六、二四一、六三六、二四〇
年終保費準備金		六、九七七、一〇、四五二〇
年終特別養老保險金		九、一三、五二一、七九〇

項目	金額
年始支拂備金	四、七四二、六八一七〇
年始責任準備金	五九、一四九、九三九二七〇
年始保費準備金	六、九七〇、三六三、四七〇
年始特別養老保險金	四八二、五八四、七六〇
收入諸利息	一、〇五、六四三、七三四
支拂保險金	四、三九五、七二二、九二〇
支拂保險契約利益配當金	五、一九二、六九五〇〇
支拂特別養老保險金	三七三、八三三、三四〇
支拂特別養老保險契約利益配當金	二、二四二、二〇九、八九〇
保除金額及利益配當金、外保除契約、因リテ支拂ヒタル金額	一、三〇、九七五、四六一〇
事業費	二、七三〇、一八三、三四〇
年未支拂備金	四八二、八一、一四四〇
年未責任準備金	六、二四一、六三六、二四〇
年終保費準備金	六、九七七、一〇、四五二〇
年終特別養老保險金	九、一三、五二一、七九〇

備考

「保除金額支拂、事由發生シタル契約」中ニ計上シタル倍殘養老保險契約、満期保除金壹万壹千六百圓ハ「支拂保除金」欄ニ於テハ支拂額貳萬參千貳百圓トシテ計上セリ

大同生命保險株式會社
第參拾貳回決算報告

(自昭和八年七月壹日
至昭和九年六月參拾日)

◎ 貸借對照表

資產之部

負債之部

現金	二三三.五〇	株	三〇〇.〇〇
郵便振替貯金	二四四七四.九九〇	法定準備金	三〇〇.〇〇
銀行預金	三六四八四.二四〇	責任準備金	六二四一六.三六〇
金錢信託	三〇〇.〇〇	保險契約利益配當金	六九七.七一〇
貸付金	一八五七七.〇〇	特別利益配當金	九一三五.二一〇
有價證券	三七一三八.六一〇	特別利益配當金	一九二.一一〇
信託有價証券	六二九九.四一〇	支拂備金	四八三.八一〇
不動產	七八五.二八五	別段積立金	八〇〇.〇〇
什器	一八三.六三六	使用人養老積立金	一一九五.七〇
代理店勘定	三八八.二七〇	代理店勘定	四七五.八七〇
及拂金	七五.七.五九二	社員身元保證金	二〇.三.二八七
合計	七四五二一.〇五八	合計	七四五二一.〇五八

◎ 損益計算

前年度繰越金	一七.七七三.一四〇	保險金	五一九.二六九五〇
前年度繰越金	五九.一四九.九三九	解約返戻金	一三〇.九七五.四六〇
前年度繰越金	七三.五〇.九三七	保費契約利益	三三.七八三.三四〇
前年度繰越金	四八.二五八.四七六	特別利益配當金	二二四.二二〇
前年度繰越金	三〇.〇六四.三七八	特別利益配當金	二八.一四三.三〇〇
前年度繰越金	四七.四二六.八一七	特別利益配當金	四八.九五三五〇
前年度繰越金	一〇〇.〇〇〇	特別利益配當金	一四四.四四五.九〇〇
前年度繰越金	一〇.五六四.三七四	特別利益配當金	二七三.〇一八.三四〇
前年度繰越金	五七.五.六七四	特別利益配當金	二二.三五九.八六六
前年度繰越金	四三.九五七.二二九	特別利益配當金	四八.〇四三.〇〇〇
前年度繰越金	一三.二九六.六五〇	特別利益配當金	一〇〇.〇〇〇.〇〇〇
合計	七四五二一.〇五八	合計	七四五二一.〇五八

財產賣却益
 雜入使印金
 養老積金
 雜益

七三九四二六六。
 四八〇四三〇〇。
 四三〇一二三

雜損
 次年度繰越金
 △責任準備金

一三二七五七八三
 六二四一六三六〇
 二四〇

合計 八三二四六一二九三四三

剩餘金 貳百四拾五萬八千七百七拾九圓六拾貳錢

由特別養老保險契約利益配當金

✓六拾五萬五千壹百五拾八圓。壹錢
 之ニ處分スルコト九ノ如シ

差引利益金 百八拾萬參千。貳拾壹圓六拾壹錢

保險契約利益配當準備金 參拾五萬貳千參百五拾壹圓拾七錢
 株主配當金(年八末) 貳萬四千圓

役員賞與金 八萬圓
 供用入養老積立金 七萬圓

別段積立金 壹百拾萬圓
 次年度繰越 拾七萬六千六百七拾圓四拾四錢

保險契約利益
 配當準備金
 特別養老保險契約
 利益配當金
 特別養老保險契約
 利益配當金
 特別養老保險契約
 利益配當金
 特別養老保險契約
 利益配當金
 特別養老保險契約
 利益配當金
 特別養老保險契約
 利益配當金

六二四一六三六〇
 六九七七、一〇、四
 二五八、三六三
 一、九、二、一、一
 四八、二、八、一、一
 八〇、七、八、七、九、四、九
 七三三

昭和九年十二月十日

特別融通整理部主事殿

大阪支店長

整理部受付
9.12.11

特別融通整理部主事

大同生命保険株式會社ハ本月八日臨時株主總會ヲ開催、全社定款變更ニ關スル左記議案ヲ附議可決致候此段及御報告候也

記

定款第四條並ニ第三十四條中左記ノ通り變更ノ件

第四條中支店ノ下「大阪市、東京市、京都市、名古屋市、仙台市、廣

島市、金澤市及福岡市」トアルヲ「大阪市、東京市、京都市、名古屋市

横濱市、仙台市、廣島市、福岡市、金澤市及京城府」ト改ム

※往來支店
ト稱し居タリシ
支店ヲ
算格

第三十四條中「使用人養老積立金」ノ次ニ「保險契約利益配當特別準
備金」ヲ加フ

以上

※ 此等積立金ハ五年間毎ノ終局配當金ニテテ往來之ヲ別爲積立金ニ
保爲ニテテ之ハ其積立金ニ保爲ニテテ保爲ニテテ保爲ニテテ保爲ニテテ
ルニテ保爲ニテテ保爲ニテテ保爲ニテテ保爲ニテテ保爲ニテテ保爲ニテテ

(要更不)

昭和十年八月二十二日

大阪支店長代



整理部受付
10.8.23

特別融通整理部長殿

特別融通整理部長



大同生命株式會社ニ於テハ本日第三十三回定時株主總會ヲ開催シ別紙議案ヲ附議致候處左記ノ通り決定相成候此段及御報告候也

記

一、第三十三回決算案

原案可決

一、大同生命保健會助成ノ件

金十萬圓交付ノコト

一、取締役廣岡久右衛門及監查役祇園清次郎任期滿了ニ付改選ノ件

兩名再選重任

※
令如所設
病院ヲ經營
ニ拂成事礼

之ヲ計スル
及孫持等アリ

（考）
此項事務ハ
直ニテ
行ハレ
可
也

會議、目的タル事項

第一

至昭和九年七月一日前年度事業報告書、財産目錄、貸借對照表、並ニ損益計算書承認、件

第二

自昭和九年七月一日至同十年六月三十日年度利益處分ニ關スル決議、件

第三

別段積立金中ヨリ大同生命保健會ニ對シ助成金ヲ支出スル、件

第四

取締役廣岡久右衛門、監查役祇園清次郎兩氏各任期滿了ニ付改選、件

以上

第拾參回定時株主總會附議諸表

自昭和九年七月一日
至昭和十年六月三十日

事業成績一覽表

年始現在契約	新契約	其他增加	其由發生シタル契約	其由シタル契約	減額減少	年未現在契約	總增加契約	年始支拂備金	年始責任準備金
二五九七八九	四五四八四	六八二	六四一九	一七六五七	(一八九)	二八一八七九	二二〇九〇	四八六八一・四四〇	六二四一六・三六〇・二四〇
件數	死亡	保險	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額
三〇一七一・八〇〇・〇〇〇	五四〇・八六二・二五〇・〇〇〇	七六六・〇〇〇・〇〇〇	五五七七・〇〇〇・〇〇〇	二三九三・三三三・〇〇〇	一三二七・二五〇・〇〇〇	二二四・一六二・五〇〇・〇〇〇	二四〇・一六二・五〇〇・〇〇〇	七八九〇・六二六・三一〇	一一一九五七・七七四〇
前年比ト	増								
三〇三〇・六七五・一〇									

年始支拂備金	年始責任準備金	年未支拂備金	年未責任準備金	年未保險契約利益配當金
四八六八一・四四〇	六二四一六・三六〇・二四〇	六五七〇・三八一七・六五〇	八三五八・四五二・五〇〇	七八九〇・六二六・三一〇
七八九〇・六二六・三一〇	一一一九五七・七七四〇	五五四二・四八九三	五五八・四五二・五〇〇	四五六〇・六八〇・〇〇〇
四〇・八八五三・二六〇	三四七四・二〇・七四〇	一〇・三七三一・三六四〇	二九四四・二四三・二一〇	三〇・三七三一・三六四〇
三〇・三七三一・三六四〇	二九四四・二四三・二一〇	六五七〇・三八一七・六五〇	八三五八・四五二・五〇〇	四〇・八八五三・二六〇

備考 本表年未保險契約利益配當準備金欄ニ損益計算書ノ
同上準備金ニ本年度剩餘金中ヨリ増加積立ヲナシタル特別養老保險
契約利益配當金ヲ加算シタル金額ヲ掲ケタリ、貸借對照表準備金
亦同シ

大同生命保險株式會社
第拾參回決算報告

(自昭和九年七月一日起至昭和十年六月三十日止)

◎ 貸借對照表

資產之部

負債之部

現金	一九〇八七〇	株金	三〇〇,〇〇〇
郵便振替貯金	二七,八九九四	法定準備金	三〇〇,〇〇〇
銀行預金	三九,四九〇八	責任準備金	六五,七〇三,八一七
金銭信託	三〇,〇〇〇〇	保險契約利益金	八三,五八四,五二五
貸付金	二〇,六一四,四八三	手周年終保險契約利益金	一四,七七五,九七〇
有價證券	四〇,一五六,〇四四	特別當未排發引當	五,五四二,四八九
信託有價證券	六五,七三,三一〇	支拂備金	一八,一〇〇,〇〇〇
不動產	六七,五九二,一九六	別段積立金	五,一三三,八三〇
什器	一七,九三,五四七	代理店借	二四,六一,二二三
代理店貸	四三,九七七四	社員身元保證金	三五,八四九,四三〇
返拂金	五,四三,三五九	返受金	一六,六六五,九五〇
合計	八〇,一三九,五二一	未經過利息	一六,六六五,九五〇

返勘定	二六,五四七,一八〇	利息	二六,三二九,〇〇〇
建築費勘定	四六,五九九八	合計	八〇,一三九,五二一
合計	八〇,一三九,五二一		

◎ 損益計算書

收入之部

支出之部

前年度繰越金	一七,六六七〇	保險金	五五,六〇,六八〇
利息	六二,四一六,三六〇	解約返戻金	一〇,三七三,一三六
責任準備金	八二,四二九,七七七	普通老保費金	四〇,八八五,三二六
保險契約利益金	一九,二一一一	特別老保費金	三,四七四,二〇七
手周年終保險契約利益金	四八,八一一一	特別當未排發引當	四,四三五,五一〇
支拂備金	一,一九五,七〇七	義濟金	六,五〇三,六八〇
保險料	四,五〇六,五三六	税金	一,三七五,四三三
諸利息	一,二一五,五二二	事業費	二,九四四,二四三
財產償還益	七六,二二〇	有價證券償却	三,八〇一,〇三三
財產賣却益	九三〇	不動產什器償却	一,二〇〇,〇〇〇
		退職社負養老金	九,二五九,四〇〇
		合計	一〇,三七三,一三六

雜	養入老積立金	八一九五七	大同生命保健會	九〇〇〇〇
別	線改入積立金	九〇〇〇〇	雜	一六八二八
益	益	一四一四九〇	損	四九〇
合計				九〇〇〇〇

合計	八八四〇六七四九七〇	合計	八四九〇二〇六五五九〇
----	------------	----	-------------

剩餘金 參百五拾萬四千六百四拾九圓參拾八錢

內特別養老保險契約利益配當金
八拾七萬零千七百四拾九圓貳錢

差引利益金 貳百六拾參萬貳千九百圓參拾六錢

右處分 安示

普通養老保險契約利益配當準備金 參拾參萬參百拾貳圓參拾錢

株主配當金(年八朱) 貳萬四千圓

役員賞與金 拾萬圓

使用人養老積立金 拾萬圓

保險契約特別利益配當準備金 百參拾萬圓

別段積立金	六拾萬圓
次年度繰越金	拾七萬八千五百拾八圓六錢

前叙通り年度決算を終了シ利益を處分シタル後ニ於ケル當社ノ現狀左ノ如シ

一昭和拾年六月末現在保險契約高

參億貳千五百七拾貳萬四千四百貳拾五圓

一昭和拾年六月末現在 諸準備金

七千九百七萬零千六百七拾七圓參拾五錢

內 譯

法定準備金 參拾萬圓

責任準備金 六千五百七拾萬參千八百拾七圓六拾五錢

保險契約利益配當準備金 七千九百參千六百拾圓七拾七錢

別段積立金 貳百四拾零萬圓

支拂備金其他 六拾五萬四千貳百四拾八圓九拾參錢

一昭和拾年六月末現在有價證券價值含益

八百七拾萬五千圓(帳簿價格ノ市價ニ對スル差益)

昭和十年十一月十一日

特別融通整理部長殿

特別融通整理部長



大同生命保險株式會社ハ本日臨時株主總會ヲ開催、同社定款變更ニ關スル左記議案ヲ附議可決致候此段及御報告候也

記

定款第四條並ニ第三十五條中左記ノ通り變更ノ件

第四條中支店ノ下「大阪市、東京市、京都市、名古屋市、横濱市、仙臺市、廣島市、福岡市、金澤市及京城府」トアルヲ「大阪市、東京市、京都市、名古屋市、横濱市、仙臺市、廣島市、福岡市、金澤市、札幌市及京城府」ト改ム

(増設)

大阪支店長代

整理部受付
10.11.12

第三十五條 中年齡九年ノ下「七ヶ月以上」トアルヲ「六ヶ月ヲ超エ」
ト改ム
以 上

(変更記ノ協)

昭和十一年二月二十日

特別融通整理部長



大阪支店長代



特別融通整理部長殿

大同生命保険株式會社ハ本日臨時株主總會ヲ開催シ同社ノ神戸、鹿兒島、岡山、新潟及高松各支部ヲ夫々支店ニ昇格セシムルノ件ヲ附議可決致候
此段及御報告候也

○支部長等係初議上此後向レシカラス候
全支店ト改稱セシムルノ事(各支部長名録ノ一
等部定ニテハ此レ之ヲ遠カクス處止ルベシトスル候)

記

會議ノ目的タル事項

第一、定款第四條中左記ノ通り變更ノ件

支店ノ下「大田市、東京市、京都市、名古屋市、横濱市、仙臺市、廣島市、福岡市、
 金澤市、札幌市及京城府」トアルヲ「大田市、東京市、京都市、名古屋市、神戸市、
 横濱市、廣島市、福岡市、仙臺市、札幌市、鹿兒島市、金澤市、岡山市、新潟市、
 高松市及京城府」ト改ム

以上

(東京市会)

昭和十一年八月十九日

大阪支店長



特別融通整理部長殿

特別融通整理部長



大同生命保険株式會社ニ於テハ本日定時株主總會ヲ開催シ別紙議案ヲ附議致候處左記ノ通り決定致候間左様御承知相成度此段及御報告候也

記

一、自昭和十年七月一日至同十一年六月三十日年度決算

承認

一、右年度利益處分案

可決

一、大同生命保健會助成ノ件
(附屬病院経営株式會社)
一、重役改選ノ件

十萬圓交付ノコト

前年卜日額

前年、實際
支店額 五〇千円

從來監査役タリシ廣岡松三郎取締役ニ、取締役タリシ加輪上勢七監査役ニ夫々當選就任シタル外何レモ重任

會議之目的タノ事項

- 第一、至昭和十一年六月三十日年度事業報告書、財産目錄、貸借對照表、並ニ損益計算書承認ノ件
- 第二、自昭和十一年七月一日年度利益處分ニ關スル決議ノ件
- 第三、別段積立金中ヨリ大同生命保健會ニ對シ助成金ヲ支出スルノ件
- 第四、取締役廣岡惠三、平澤眞、松井萬綠、加輪上勢七、增山富次、入部恭藏六氏並ニ監查役廣岡松三郎、江見濱五郎兩氏各任期満了ニ付改選ノ件

以上

第參拾四回定時株主總會附議諸表

自昭和十年七月一日
至昭和十一年六月三十日

事業成績一覽表

年始現在契約	新契約	其他增加	保險金額支拂	其由發生シタル契約	其他事由ニ因リテ消滅シタル契約	保險金額減少	年未現在契約	純增加契約	年始支拂備金	年始責任準備金
二八、八七九	四六、八〇一	六三、一〇二	六九、四四九	一六、七一一	(一、〇〇九)	三、五六四	二、三七六	二、三七六	八、三五八	三、八一七
件數	死	七	保	險	額	前年比	以	後		
三、五七七	二、四四二	五、〇〇〇	五、九四三	〇、四九五	〇、〇〇〇	(+) 五、三四四			五、五〇二	四、八八九
六、七一一	五、〇〇〇	〇、〇〇〇	六、二六五	七、五〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	三、〇一〇	五、八二〇
二、六七八	二、五〇〇	〇、〇〇〇	二、〇五一	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	三、五五八	三、〇一〇
三、〇一〇	五、八二〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	(+) 六、九四四			五、五〇二	四、八八九

年始保險契約利益	配當準備金	收入保險料	收入諸利息	支拂保險金	支拂普通養老保險契約	利益配當金	支拂特別養老保險契約	利益配當金	保險金額及利益配當金外	保險契約箇り支拂金	事業費	年未支拂備金	年未責任準備金	年未保險契約利益配當	準備金
八、三五八	四、五二五	〇、〇〇〇	一、三七五	三、六二六	三、三三〇	四、八一六	八、六一五	六、〇〇〇	四、六六七	三、六一五	五、二一一	九、五一一	四、四三八	三、一七八	九、四六三
三、一七八	九、四六三	三、一六〇	六、九四五	三、四四五	六、八八〇	二、五四六	九、八八〇	〇、〇〇〇	三、一七八	九、四六三	三、一六〇	六、九四五	三、四四五	六、八八〇	二、五四六

大同生命保險株式會社
 第參拾四回決算報告
 (至昭和十一年六月三十日)

◎ 貸借對照表

資產之部

現金	一八〇	三三〇
郵便振替貯金	二五二六四	三七〇
銀行預金	三六四四〇・七二	四一〇
貸付金	二一三八四七〇・四	〇・八
有價証券	四四三二七四九三	〇・四
信託有價証券	八一七〇四一九	五三〇
不動產	八六〇四六〇九	二四〇
什器	一九九八三一	七五〇
代理店	五五七〇三三	七五〇
返拂金	四〇八二五	一五〇
返勤金	二七八三七	八四〇

負債之部

株	三〇〇〇〇〇	〇〇〇
法定準備金	三〇〇〇〇〇	〇〇〇
責任準備金	六九九五三〇・三四	五三〇
保險契約利益配	八八〇六五四六	九八〇
保險契約特別利益配	一三〇〇〇〇〇	〇〇〇
特別準備金	一二七一六	七三〇
支拂準備金	五八二二八〇	五八〇
別段積立金	二二六〇〇〇	〇〇〇
社交養老積立金	五〇五九〇	〇〇〇
代理店借	四一二二	六一〇
社員身元保証金	二七六〇九九	三一〇

建築費助金

八二一一 二八〇

合計 八六九九〇・四八二 七六〇

返受金	一九四四三	三九〇
未経過利息	一七二一七六	八五〇
利息	二六八五四九一	七八〇
合計	八六九九〇・四八二	七六〇

◎ 損益計算書

收入之部

前年度繰越金	一七八五二八	〇・六〇
利息	六五七〇・三八一七	六五〇
責任準備金	八六八八・八三四	八〇〇
保險契約利益	一四七七五	九七〇
三十分年終金	五五四二四八	九三〇
支拂備金	一三七五三六六	三三〇
保險料	五五四	四三〇
諸利	四八一六八六一	五六〇
財產償還	一〇六六六三	五三〇
財產賣却	一三二七九一	九六〇

支出之部

保險金	六二五〇・九五	〇〇〇
解約返戻金	九五一一四三	八二〇
普通養老保險契約	四六六七三六	五一〇
特別養老保險契約	五二二二二四	三二〇
特別準備金	六〇五九	二四〇
義濟金	一一四五八	一九〇
事業費	一四二九六九	四八〇
不動產管理費	三七八九四六	三六〇
有價証券償却	三六七七三	九〇〇
不動產什器償却	二二三五五六	五六〇
	一一〇〇〇〇	〇〇〇

雜入	四九四一〇
別段積立金	五〇〇〇〇
益	〇〇〇
合計	九四、五〇、一〇六

合計 九四、五〇、一〇六

差引利益金 貳百六拾八萬五千四百九拾陸圓七拾八錢

備考 本期別途計算、特別養老保險、利益中より同種類三貯スル利益配当準備金トシテ
 考百九萬七千六百七拾陸圓七拾九錢、次年度繰越金ニ繰入ルヲ以テ、之ヲ前記利益金ニ加
 算スルハ、通リ、參百七拾八萬參千五百六拾四圓七拾九錢トナル
 前記利益金 貳百六拾八萬五千四百九拾陸圓七拾八錢
 特別養老保險利益準備金繰入 百九萬七千六百七拾陸圓七拾九錢
 合計 參百七拾八萬參千五百六拾四圓七拾九錢

右處分表

普通養老保險契約利益配当準備金 參拾貳萬九千八百九拾九圓四拾陸錢
 保險契約特別利益配当準備金 百參拾萬圓

別段積立金 六拾萬圓
 株主配当金(年八末) 貳萬四千圓
 役員賞與金 拾萬圓
 社員養老積立金 拾五萬圓
 次年度繰越 拾八萬參千六百貳圓參拾七錢

前叙通り年度決算終了之利益ニ處テ、之ヲ後ニ於ケル当社、現狀在、如シ

一 昭和拾陸年六月末現在保險契約高 參億五千五百八拾萬貳百四拾五圓
 一 昭和拾陸年六月末現在諸準備金 八千五百七拾四萬五千八百八拾參錢
 法定準備金 參拾萬圓
 責任準備金 六千九百九拾五萬貳千參拾四圓五拾參錢
 保險契約利益準備金 陸千四百七拾四萬五千五百五拾參圓拾貳錢
 別段積立金 貳百九拾六萬圓
 支拂備金 五拾八萬貳千貳百八拾四圓五拾八錢
 社員養老積立金 貳拾萬五千九拾圓
 一 昭和拾陸年六月末現在 有價証券準備金(帳簿價格、市價對シテ差益) 陸千五百七拾七萬四千貳拾九圓

退職養老金	四九四一〇
賦同生命保險金	五〇〇〇〇
雜入	〇〇〇
次年度繰越金	一四、六六二
責任準備金	六九、九五三、三四
繰越準備金	八八、〇五四六
特別養老保險契約利益準備金	一、七七一六
特別積立金	七三〇
支拂備金	五八二、〇八〇
合計	九一、三六四、六一四

昭和十一年九月十九日

特別融通整理部長殿

大阪支店長代

整理部受付
11.9.21

特別融通整理部長

印

印

大同生命保險株式會社ハ昨十八日臨時株主總會ヲ開催シ同社定款第三十
四條ヲ左ノ通り變更ノコトニ附議可決致候間此段御報告申上候也

(朱記ノ通り變更)

第三十四條

純益ハ法定準備金及保險契約利益配當準備金ヲ控除シ

普通養老

其殘額ヲ株主配當金、役員賞與金、使用人養老積立金、保險契約特別

利益配當準備金、別段積立金及後期繰越金ニ便宜取捨處分ス

14

77

本以
右
ノ
ナ
ル
所

普通養老
保險契約利益配當準備金ハ
主務官廳ノ認可ヲ經タル方法
別ニ定ムル確定配當準備金ノ算法ニ依リテ
計算ス但シ純益カ其配當準備金及法定準備金ヲ積立ツルニ不足ナル場
合ニ於テハ純益ヨリ法定準備金ヲ控除シタル殘額全部ヲ以テ之ニ充ツ

(備考)

右定款第三十四條改正案中保險契約利益配當準備金ノ上ニ普通養老ノ
四字ヲ加ヘムトスルハ、從來ヨリ右文言ハ普通養老保險分ノミヲ指シ
居レルモノナルモ特別養老保險分(第三十三條ニ規定)ヲモ含ムノ觀
アルヲ以テ、普通養老保險分ノミヲ指スコトヲ明確ニセントスルモノ
ナリ、又右普通養老保險契約利益配當準備金ノ算法ヲ主務官廳ノ認可
ヲ經タル方法ト改メムトスルハ、準備金算法ハ事業方法書記載事項ト
シテ主務官廳ノ認可ヲ要スルコト、成リ居レルモノナル處、他會社定

款一般例ハ改正案ノ如クナリ居レル次第モアリ旁々此際改定シ置カ
トスルモノ、由ナリ

変更不協

昭和十一年十一月十七日

大阪支店長代



整理部受付
11.11.18

特別融通整理部長殿

特別融通整理部長殿



大同生命保険株式會社ハ昨日臨時株主總會ヲ開キ同社定款中一部ヲ左ノ通り變更ノコトニ決議ヲ了シ候右ハ同社現行ノ保險中普通養老保險カ既に全ク舊型ニ屬シ新規契約ノ獲得困難ナルニ鑑ミ之カ募集ヲ打切り名ハ同シ普通養老保險ナルモ毎年利益配當付（契約後二ケ年ヲ經タルモノニ對シ既積立責任準備金ノ三分五厘ヲ配當スル豫定）ノ保險ヲ新設スルノ

現に募集停止ノ旨ハ
契約後二ケ年目ヨリ
保險料ノ引上げ
ヲ要スル所ナリ
對シ養老ノ一段及御報告候也
之ニ他此ニ神戶ノ保險料カ幾
ナル、可成り存リ得テ今回ハ概シカオモ蓄積中ニ三年
契約者ノ負担、輕ク、由、是、先、

多ク日海見たりと仰る者ノ口減、行、心、由

記

(朱記ノ通り變更)

第三十三條 當會社ハ諸收入金及前年度ヨリノ繰越金ノ内ヨリ諸支出金、

次年度ニ繰越スヘキ責任準備金及其他ノ積立金並ニ特別養老保

險種類ニ對スル保險契約利益配當準備金ヲ控除シ其殘額ヲ以テ純益トス

前項ノ保險契約利益準備金ハ各保險種類毎ニ積立ツルモノトシ其額

特別養老保險契約利益配當金ハ主務官廳ノ認可ヲ經タル方法ニ依リ特別養老保險契約ニ屬スル收支ヲ別途ニ計算

シ剩餘金額ノ百分ノ七拾五以上其全額以下ニ於テ之ヲ定ム但純益カ法

定準備金及第參拾四條第二項ノ本文ニ依ル利益配當準備金ヲ積立ツル

ニ充分ナル場合ハ本項ニ依リ計算シタル金額ヲ超エ其配當金額ヲ定ム

ルコトヲ得

第三十四條 純益ハ法定準備金及普通養老保險契約利益配當準備金

ヲ控除シ其殘額ヲ株主配當金、役員賞與金、使用人養老積立金、保險

昭和(次)年(前)月(日)前ニ締結セル普通養老保險契約ニ對スル利益配當準備金

契約特別利益配當準備金、別段積立金及後期繰越金ニ便宜取捨處分ス
前項ノ普通養老保險契約ニ對スル利益配當準備金ハ
普通養老保險契約利益配當準備金ノ主務官廳ノ認可ヲ經タル方法ニ依
リテ計算ス但シ純益カ其配當準備金及法定準備金ヲ積立ツルニ不足ナ
ル場合ニ於テハ純益ヨリ法定準備金ヲ控除シタル殘額全部ヲ以テ之ニ
充ツ

(註) 年月日ハ新種保險ニ付主務省ノ認可ヲ得タル上募集ニ着手ス
ルコト、成リタル時補充スル筈

昭和十二年七月二十九日

大阪支店長代



整理部受付
12.7.30

特別融通整理部長殿

特別融通整理部長



火傷有

契約番号四一〇三八

大同生命保険株式會社ニ於テハ豫テ舊來ノ普通養老保險契約ノ募集ヲ打

隠資産 九四一六五

由責任準備金 切り新種ノ普通養老保險（舊來ノ普通養老保險ト特別養老保險トヲ折衷

大九九五二

（本年五月末）シ契約後滿四年目ヨリ責任準備金ノ三分五厘ニ相當スル利益配當ヲ行ハ

ントスルモノ）ヲ創設スル計畫ニテ昨年十一月臨時株主總會ヲ開キ右ニ

火傷有
特別養老料 四三・一〇

件ヲ定款變更ノ件ヲ付議決定シタル上（昭和十一年十一月十七日附報告

特別養老料 四一・五〇

日中生命 四五・六〇 御参照）商工省ニ對シ認可申請中ノ處去ル七月一日附ヲ以テ其ノ認可ヲ

（昭和十一年五月末）

二月日附報告ト同様紙率ナリ

16

得タルニ付愈々來ル八月十日ヨリ該新種保險契約ノ募集ニ着手スルコト
ト爲シタル趣ニ有之候此段及御報告候也

普通養老保険とは・・・

當社は明治三十五年の創業以來、「堅實主義」「加入者本位」を本領とし、夢寐にも進歩改善を怠らず、一意、最優の經營と最良の保険の提供とにつとめて参りました。この保険は最新の學理と豊富な經驗に基き、更に新時代の要求に適應するため、計數の基礎を改めて、一層契約の保證力を強めながら、而も極度に保険料をお安くしたものであります。

全期拂込

① 普通養老保険

一、加入し易く續け易い 「最も廉い保険料で最も多額の保険金を」といふ目的になつた極めて低廉な保険料で、その上左記の通りの利益配當により毎年掛金が減つてゆき、加入しやすい上に續けやすく、御家庭の保護、老後の備へ、その他あらゆる方面に最も廣く御利用願はれるものです。

一、有利な利益配當 この保険から生ずる利益は、毎年の決算に於て、從來實施中の保険とは全く別途に計算し、その大部分をこの契約に對する利益配當準備金として積立て、次の仕組により加入者に配當いたします。

イ、開始の時期 契約後滿四年目（年掛保険料の第五回目拂込）から配當を開始します。

ロ、割當の方法 責任準備金に比例して割當てますから、配當金額は年々増加して参ります。

ハ、配當の方法 拂込保険料と差引の方法で分配いたしますから、年々配當金額の増加に伴ひ實際の掛金が減少し次第にお拂込が樂になつて参ります。

短期拂込

② 普通養老保険

一、最も利廻りがよい 保険料のお拂込を一定の短期間に限つたもので、一回分の掛金は全期拂込に比べて幾分高額ですが、保険料拂濟後の配當に妙味ある方法を用ひた利廻りのよい保険であります。

一、多額の利益配當 保険料拂込期間中の配當方法は右に述べた全期拂込の場合と同様ですが、保険料拂濟後は、御加入の際の御選定に従ひ、左記の内何れかにより配當いたします。

イ、現金配當 相當まとまつた金額の利益配當金を年々現金でお支拂ひいたしますから、恰も保険に恩給を加味したような楽しみが多い方法です。

ロ、保険金増加配當 毎年の利益配當金を會社に積立て、複利で利殖し、更に五年目毎に之に應じて保険金を増額いたしますから、回を重ねるに従ひ保険金が増大する、確實有利な投資の方法です。

● 便宜と奉仕

一、保険料の前拂 保険料を予め何年分でも年五分の複利割引でお預りし、先々不要になつた分も利息をつけてお返し致します。而も五分は最低保證で、更に毎年會社資産の平均利廻りに準じ、追加利息も差上ります。

一、保険金の分割拂 永い御丹精の保険金も、受取る方が御婦人とか年少の方では保管や利殖にお困りになりませう。そこで、その保険金を重信多壽券の最低保證で（前項と同じく追加利息を差上ります）お預りして、確實有利な定期収入に變へてお渡する信託を加味した取扱ひであります。

一、延長保険、簡易貸付、及び拂込済證券 御都合で保険料のお拂込を中止された場合の保全方法として、其時まで拂込まれた保険料だけで、元の保険金のまゝ、更に一定期間契約の効力を延長する「延長保険」の便法や、拂戻金の範圍で、極めて手軽に保険料をお立替する「簡易貸付」及び、保険金を減額して「拂込済證券」として満期まで据置の方法もございます。

一、其他の奉仕約款 保険金支拂の迅速、保険證券擔保の御融通、旅行轉業に對する特別保険料の全免、證券書換、裏書等の無手数料などあらゆる奉仕條項を完備してあります。

會社ノ責任開始期

第一條 會社ノ保險契約上ノ責任ハ會社ガ第一回保險料ヲ領收シタル時ニ始マル

保險料ノ拂込、拂込ノ猶豫及契約ノ失効

第二條 第二回以後ノ保險料ハ其ノ拂込期間内被保險者生存中毎年拂込ハ分割拂込ノ金額ヲ保險料ニ記載シタル拂込期日マデニ拂込ムベシ但シ被保險者ガ死亡シタル場合ニ於テ其ノ保險年度ノ保險料ニ未拂込分アルトキハ保險金ヨリ之ヲ控除スベシ

保險料ハ會社ノ本店又ハ會社ノ指定シタル支店、支那若クハ代理店ニ拂込ムベシ

第三條 第二回以後ノ保險料拂込ニ付テハ期日後二ヶ月ヲ猶豫期間トス

保險料ヲ拂込マズシテ前項ノ期間ヲ超過シタルトキハ保險契約ハ其ノ效力ヲ失フ

保險料ノ簡易貸付及前拂

第五條 前條ノ猶豫期間満了前ニ於テ保險契約者ヨリ保險料簡易貸付ノ申込アリタルトキハ會社ハ第二十二條ニ定ムル拂込金額(既ニ本條又ハ第二十六條ノ貸付金アル場合ハ其ノ貸付金)ガ當該保險料並ニ之ニ對シテ次期ノ猶豫期間満了日迄ノ利息ヲ支辨スルニ足ル場合ニ限り保險料相當額ヲ貸付金ト爲シ保險料ノ拂込ニ之ヲ充當スベシ

第六條 第二十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 保險契約者ハ會社ノ承諾ヲ得テ將來拂込ムベキ保險料若干年分ヲ一時ニ拂込ムコトヲ得此場合ニ於テハ年五分ノ複利ヲ以テ割引スベシ但シ一年ニ滿タザル期間ハ日數ニ依リ計算ス

第八條 保險契約消滅ノ事由發生シタル場合ニ於テ前項ニ依リ次保險年度以後ノ保險料ヲ領收シタルモノアルトキハ前項ノ計算ニ依リ之ヲ保險契約者ニ拂戻スベシ

第九條 第一項ニ依リ保險料ノ前拂ヲ爲シタル保險契約ニ付テハ會社ハ毎事業年度末ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ經テ算出シタル其ノ年度ノ會社資産ノ平均利益率ノ五分ノ超過額ヲ超過額トシテハ其ノ超過額ヲ當該決算期日ノ屬スル保險年度ニ殘存スル前拂分ニ對シテ追加利息ノ率ト定メ利息額ヲ計算シ前拂保險料過剩金トシテ保險契約者ニ拂戻スベシ

契約ノ復活

第七條 第四條第二項ニ依リ保險契約ガ效力ヲ失ヒタル後二ケ年内ハ保險契約者ハ左ノ書類ヲ提出シテ契約ノ復活ヲ請求スルコトヲ得

一、失効後二ケ月内ハ保險契約者及被保險者ガ健康ニ異常ナキコトヲ證明スル會社所定ノ健康證明書

二、失効後二ケ月ヲ超ユルトキ又ハ二ケ月内ト雖モ會社ガ特ニ必要ヲ認メタルトキハ被保險者ノ健康ニ異常ナキコトヲ證明スル醫師ノ診斷書

前項ノ場合ニ於テ會社ガ契約ノ復活ヲ承諾シタルトキハ保險契約者ハ延滞保險料二年六分ノ割合ニ依リ利息ヲ附加シテ拂込ムベシ

第一條第十七條及第十九條ノ規定ハ復活ノ場合ニ之ヲ準用ス

保險金ノ支拂及其ノ手續

第八條 保險金ハ被保險者ガ保險期間内ニ死亡シタルトキ又ハ保險期間満了ノ日迄生存シタルトキ之ヲ支拂フベシ

第九條 保險契約者又ハ保險金ヲ受取ルベキ者ガ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知りタルトキハ遅滞ナク之ヲ會社ノ本店ニ通知スベシ

第十條 保險金ヲ受取ルベキモノハ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知りタル日ヨリ二ヶ月内ニ左ノ書類ヲ提出シテ保險金ヲ請求スベシ

一、醫師ノ死亡診斷書又ハ死體檢案書

二、被保險者ノ戸籍謄本又ハ抄本

前項第一號ノ書類ニハ會社ノ定メタル事項ヲ記載スベシ但シ之ヲ記載スルコト能ハザル正當ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

會社ハ第一項ノ書類ノ外特ニ必要アリト認メタル書類ヲ請求スルコトヲ得

被保險者ガ保險期間満了ノ日迄生存シタルトキハ保險金ヲ受取ルベキ者ハ被保險者ノ戸籍抄本ヲ提出シテ保險金ヲ請求スベシ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 保險金ハ前二條ノ書類ガ會社ノ本店ニ到達シタル後一週内ニ之ヲ支拂フベシ但シ會社ニ於テ調査ノ爲メ特ニ時日ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 第九條乃至第十一條ノ規定ニ拘ラズ會社ニ於テ保險金ヲ支拂フベキモノト認メタルトキハ之ヲ支拂フベシ

第十四條 保險金ハ會社ノ本店又ハ支店ニ於テ保險証券及最後ノ保險料領收書ト引換ニ之ヲ支拂フベシ但シ正當ノ理由アルトキハ本條ノ書類ヲ提出スルコトヲ要セズ

前項ノ支拂ハ會社ノ便宜ニ依リ其ノ支店、代理店又ハ其ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトアルベシ

保險金ノ分割支拂

第十五條 保險契約ノ當時又ハ其ノ繼續中ニ於テ保險契約者ノ申出アリタルトキハ會社ハ保險金(保險金ヨリ控除スベキ金額アルトキハ之ヲ控除シタル殘額)ヲ一定期間内分割拂ノ方法ニ依リ保險金ヲ受取ルベキ者ニ支拂フベシ但シ一回ノ割賦金額十圓ニ滿タザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ分割拂ハ年三分五厘ノ複利ヲ以テ計算シタル三年、五年、七年、十年又ハ十五年ノ期間トスル期始拂ノ年賦拂、半年賦拂、三ヶ月賦拂又ハ月賦拂ノ中保險契約者ノ選定シタル方法ニ依リモノトス、割賦金額ノ別列表ノ如シ

保險金支拂ノ事由發生シタルトキ保險契約者ニ依リ保險金ヲ受取ルベキ者ニ支拂フベキ金額アラバ保險契約者ニ於テ選定メ別段ノ定メ爲サマリシ場合ニハ之ヲ保險金(保險金ヨリ控除スベキ金額アラバ之ヲ控除シタル殘額)ニ加算シ其ノ合計額ヲ以テ分割拂ノ元金ト爲シ割賦金ノ額ヲ定ムベシ

保險金分割拂ノ場合ニ於テ其ノ分割拂ノ期間内ニ保險金ヲ受取ルベキ者死亡シタルトキハ會社ハ年三分五厘ノ複利割引ノ方法ニ依リ未拂割賦金ノ現價ニ換算シ一時ニ之ヲ保險金ヲ受取ルベキ者ノ相続人ニ支拂フベシ

保險金支拂ノ事由發生前ニ於テハ保險契約者ハ保險金分割拂ノ變更又ハ取消ヲ會社ニ請求スルコトヲ得

保險金分割支拂方法ノ選定、變更又ハ取消ハ保險契約者ノ申出又ハ請求ニ基キ會社ニ於テ保險証券ニ其ノ裏書ヲ爲シタル時ヨリ效力ヲ生ズ

保險契約者ガ選定メ別段ノ定メ爲サマリシトキハ保險金支拂ノ事由發生後ト雖モ保險金ヲ受取ルベキ者ハ將來ニ向テ保險金分割拂ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會社ハ年三分五厘ノ複利割引ノ方法ニ依リ未拂割賦金ノ現價ニ換算シ之ヲ保險金ヲ受取ルベキ者ニ支拂フベシ

保險金ノ分割拂ヲ開始シタル契約ニ對シテハ會社ハ毎事業年度末ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ經テ算出シタル其ノ年度ノ會社資産ノ平均利益率ノ五分ノ超過額ヲ超過額トシテハ其ノ超過額ヲ當該決算期日ノ屬スル保險年度ニ殘存スル前拂分ニ對シテ追加利息ノ率ト定メ利息額ヲ計算シ割賦金支拂開始日ノ屬日ニ於テ割賦金ニ附加シテ保險金ヲ受取ルベキ者ニ之ヲ支拂フベシ

本條ニ依リ保險金ノ分割支拂ヲ爲ス場合ハ保險金ヲ受取ルベキ者ニ對シテ保險金分割支拂證書ヲ交付スベシ

保險金ノ支拂及其ノ手續

第八條

保險金ハ被保險者ガ保險期間内ニ死亡シタルトキ又ハ保險期間満了ノ日迄生存シタルトキ之ヲ支拂フベシ

第九條

保險契約者又ハ保險金ヲ受取ルベキ者ガ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知りタルトキハ遲滞ナク之ヲ會社ノ本店ニ通知スベシ

第十條

保險金ヲ受取ルベキモノハ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知りタル日ヨリ二ヶ月内ニ左ノ書類ヲ提出シテ保險金ヲ請求スベシ

第十一條

一、醫師ノ死亡診斷書又ハ死體檢査書
二、被保險者ノ戸籍謄本又ハ抄本

第十二條

前項第一號ノ書類ニハ會社ノ定メタル事項ヲ記載スベシ但シ之ヲ記載スルコト能ハザル正當ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條

會社ハ第一項ノ書類ノ外特ニ必要アリト認メタル書類ヲ請求スルコトヲ得

第十四條

被保險者ガ保險期間満了ノ日迄生存シタルトキハ保險金ヲ受取ルベキ者ハ被保險者ノ戸籍抄本ヲ提出シテ保險金ヲ請求スベシ

第十五條

前條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條

保險金ハ前二條ノ書類ガ會社ノ本店ニ到達シタル後一週間内ニ之ヲ支拂フベシ但シ會社ニ於テ調査ノ爲メ特ニ時日ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條

第九條乃至第十一條ノ規定ニ拘ラズ會社ニ於テ保險金ヲ支拂フベキモノト認メタルトキハ之ヲ支拂フベシ

第十八條

保險金ハ會社ノ本店又ハ支店ニ於テ保險証券及最後ノ保險料領收書ト引換ニ之ヲ支拂フベシ但シ正當ノ理由アルトキハ本條ノ書類ヲ提出スルコトヲ要セズ

第十九條

前項ノ支拂ハ會社ノ便宜ニ依リ其ノ支店、代理店又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトアルベシ

第二十條

保險金ノ分割支拂

第二十一條

保險契約ノ當時又ハ其ノ繼續中ニ於テ保險契約者ノ申出アリタルトキハ會社ハ保險金(保險金ヨリ控除スベキ金額アルトキハ之ヲ控除シタル殘額)ヲ一定期間内分割支拂ノ方法ニ依リ保險金ヲ受取ルベキ者ニ支拂フベシ但シ一回ノ割賦金額十圓ニ滿タザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條

前項ノ分割支拂ハ年三分五厘ノ複利ヲ以テ計算シタル三年、五年、七年、十年又ハ十五年ノ期間トスル期始拂ノ年賦拂、半年賦拂、三ヶ月賦拂又ハ八月賦拂ノ中保險契約者ノ選定シタル方法ニ依ルモノトス、割賦金額ノ例別表ノ如シ

第二十三條

保險金支拂ノ事由發生シタルトキ保險契約ニ依リ保險金ヲ受取ルベキ者ニ支拂フベキ金額アラバ保險契約者ニ於テ豫メ別段ノ定メサマリシ場合ニハ之ヲ保險金(保險金ヨリ控除スベキ金額アラバ之ヲ控除シタル殘額)ニ加算シ其ノ合計額ヲ以テ分割支拂ノ元金ト爲シ割賦金ノ額ヲ定ムベシ

第二十四條

保險金分割支拂ノ場合ニ於テ其ノ分割支拂ノ期間内ニ保險金ヲ受取ルベキ者死亡シタルトキハ會社ハ年三分五厘ノ複利割引ノ方法ニ依リ未拂割賦金ヲ現價ニ換算シ一時ニ之ヲ保險金ヲ受取ルベキ者ノ相続人ニ支拂フベシ

第二十五條

保險金支拂ノ事由發生前ニ於テハ保險契約者ハ保險金分割支拂ノ變更又ハ取消ヲ會社ニ請求スルコトヲ得

第二十六條

保險金分割支拂方法ノ選定、變更又ハ取消ハ保險契約者ノ申出又ハ請求ニ基キ會社ニ於テ保險証券ニ其ノ裏書ヲ爲シタル時ヨリ效力ヲ生ズ

第二十七條

保險契約者ガ豫メ別段ノ定メ爲サマリシトキハ保險金支拂ノ事由發生後ト雖モ保險金ヲ受取ルベキ者ハ將來ニ向テ保險金分割支拂ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第二十八條

前項ノ場合ニ於テハ會社ハ年三分五厘ノ複利割引ノ方法ニ依リ未拂割賦金ヲ現價ニ換算シ之ヲ保險金ヲ受取ルベキ者ニ支拂フベシ

第二十九條

保險金ノ分割支拂ヲ開始シタル契約ニ對シテハ會社ハ毎事業年度末ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ經タル方法ニ依リ算出シタル其ノ年度ノ會社資産ノ平均利率ガ年三分五厘ヲ超過シタルトキハ其ノ超過率ヲ次年度ニ於テ支拂フベキ割賦金追加利息ノ率ト定メ割賦金支拂開始ノ日ヨリ一ヶ月毎ニ未拂割賦金ノ現價ニ付キ其ノ額ヲ計算シ割賦金支拂開始日ノ應當日ニ於テ割賦金ニ附加シテ保險金ヲ受取ルベキ者ニ之ヲ支拂フベシ

第三十條

本條ニ依リ保險金ノ分割支拂ヲ爲ス場合ハ保險金ヲ受取ルベキ者ニ對シ保險金分割支拂證書ヲ交付スベシ

第三十一條

前條ノ規定ハ本條ニ依ル支拂ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十二條

保險金ヲ支拂ハザル場合

第三十三條

左ノ場合ニ於テハ會社ハ保險金ヲ支拂フ責任ニ任ゼズ

第三十四條

一、被保險者ガ第一回保險料拂込ノ時又ハ保險契約復活ノ時ヨリ二ヶ年内ニ自殺シタルトキ

第三十五條

二、被保險者ガ決闘其ノ他ノ犯罪若クハ死刑ノ執行ニ因リ死亡シタルトキ

第三十六條

三、保險金ヲ受取ルベキモノガ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但シ其ノ者ガ保險金ノ一部ヲ受取ルベキ場合ニハ會社ハ其ノ殘額ヲ支拂フベシ

第三十七條

四、保險契約者ガ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

第三十八條

保險契約ノ無効、解除及保險金ノ減額

第三十九條

保險契約者又ハ被保險者ノ詐欺ニ因リ保險契約ハ無効トシ既ニ拂込ミタル保險料ハ之ヲ返還セズ

第四十條

保險契約者ハ何時ニテモ將來ニ向テ保險契約ノ解除ヲ爲シ又ハ保險金額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得但シ保險金ノ殘額ガ一百圓ニ滿タザル場合ハ保險金額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得ズ

第四十一條

前項ニヨリ減額シタル部分ハ解除シタルモノト看做ス

第四十二條

保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告グズ又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告グタルトキハ會社ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但シ會社ガ其ノ事實ヲ知り又ハ過失ニ因リ之ヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十三條

保險契約申込ノ後第一回保險料拂込以前ニ被保險者ノ健康ニ著シキ異常ヲ生ジ其ノ他重要ナル事項ニ付キ異動ヲ生ジタルモ之ニ關シ會社ノ承諾ヲ得ズシテ第一回保險料ヲ拂込ミタルトキ亦前項ニ同ジ

第四十四條

前二項ノ解除權ハ契約ノ時ヨリ三ヶ年又ハ會社ガ解除ノ原因ヲ知りタル時ヨリ一ヶ月ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第四十五條

保險契約者又ハ其ノ住所及居所ガ不明ナルトキ若クハ之ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テハ會社ハ保險金ヲ受取ルベキ者ニ對シテ契約解除ノ意思表示ヲ爲スコトヲ得

第四十六條

拂戻金、拂濟保險及延長保險

第四十七條

保險契約ノ解除失敗又ハ會社ガ保險金ヲ支拂フ責任ニ任ゼザル場合ニ於テハ保險料拂込中ノ契約ニ在リテハ其ノ拂込済ノ時期、保險料拂込済ノ契約ニ在リテハ其ノ經過ノ時期ヲ標準トシテ拂戻金ヲ計算シ保險契約者ニ之ヲ支拂フベシ但シ第十六條第四號ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十八條

前項ニ依ル拂戻金額ノ例別表ノ如シ

第四十九條

本條ノ拂戻金支拂ニ關シテハ第十四條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 保險契約者將來ノ保險料ヲ拂込マズ既ニ拂込ミタル保險料ニ對スル拂濟保險ヲ請求スルトキハ會社ハ第一回保險料拂込後滿三年以上経過シタル契約ニ限り新ニ保險金額ヲ定メ保險料拂濟保險ニ變更シ其ノ旨保險証券ニ裏書スベシ但シ新ニ定ムベキ保險金額ガ五十圓ニ滿タザルトキハ此ノ取扱ヲ爲サザルモノトス

第三十二條 保險契約者將來ノ保險料ヲ拂込マズ既ニ拂込ミタル保險料ニ對スル延長保險ヲ請求スルトキハ會社ハ第一回保險料拂込後滿三年以上経過シタル契約ニ限り元契約ノ保險金額ノ同クスル一定期間ノ延長保險ニ變更シ其ノ旨保險証券ニ裏書ヲ爲シ其ノ期間内ニ於テ被保險者死亡シタルトキ保險金ヲ支拂フベシ但シ延長期間ガ一年ニ滿タザルモノハ此ノ取扱ヲ爲サザルモノトス

第三十三條 前條ニ依ル延長保險及第二十一條ニ依ル拂濟保險ノ契約ニ對シテハ利益配當ヲ爲サザルモノトス

職業、居所ノ變更、旅行及戰亂

第二十四條 第一回保險料拂込後又ハ契約復活後ニ於テハ被保險者ガ如何ナル職業ニ轉ジ又ハ如何ナル場所ニ移住シテハ旅行スルトキト雖モ會社ハ契約ノ解除又ハ特別保險料ヲ請求スルコトナク保險契約上ノ責任ニ任ズベシ

第二十五條 被保險者ガ戰爭其ノ他ノ變亂地ニ在リ又ハ此等ノ地ニ赴カントスルトキハ保險契約者又ハ被保險者ハ遲滞ナク之ヲ會社ニ通知スベキモノトス

第二十六條 保險契約者ハ保險証券ヲ會社ニ提出シ第二十條ニ定ムル拂戻金額ノ範圍内ニ於テ貸付金ヲ受クルコトヲ得但シ一口金五十圓ニ滿タザルモノハ貸付ヲ爲サザルモノトス

保險証券擔保貸付

前項ニ依ル貸付アル場合ニ於テ保險契約消滅ノ事由發生シタルトキハ其ノ返済期限ニ拘ラズ會社ハ支拂フベキ金額ヨリ貸金及利息ヲ控除スベシ

年齡ノ計算及錯誤

第二十七條 被保險者ノ年齡ハ滿年ヲ以テ計算シ一年未滿ノ滿數アルトキハ六ヶ月以下ヲ切捨テ六ヶ月ヲ超ユルモノハ之ヲ一年トス

第二十八條 保險契約申込書ニ記載シタル被保險者ノ年齡ニ錯誤アリタル場合ニ於テハ左ノ方法ニ依リ處理スベシ

一、實際ノ年齡ガ保險契約ノ當時會社ノ保險料表ノ範圍外ナリシトキハ保險契約ハ之ヲ無効トシ既ニ拂込ミタル保險料ヲ保險契約者ニ拂戻スベシ但シ被保險者ガ保險契約ノ當時保險料表ニ掲ゲタル最低契約年齡ニ達セザリシ場合ニ於テ其ノ年齡ニ達シタル後錯誤ノ事實ヲ發見シタルトキハ其ノ年齡ニ達シタル日ニ於テ保險契約ヲ締結シタルモノト看做シ既ニ拂込ミタル保險料ハ其ノ契約ノ保險料ニ充當スベシ

二、錯誤ノ年齡ガ實際ノ年齡ヨリ多カリシトキハ將來ノ保險料ヲ更正シ且ツ保險料ノ差額ヲ保險契約者ニ拂戻スベシ但シ保險金支拂ノ事由發生後ニ於テハ保險金ト共ニ保險金ヲ受取ルベキ者ニ之ヲ支拂フベシ

三、錯誤ノ年齡ガ實際ノ年齡ヨリ少カリシトキハ將來ノ保險料ヲ更正シ保險料ノ不足額ニ年六分ノ複利ヲ附加シテ領收スベシ但シ保險金支拂ノ事由發生後ニ於テハ保險料不足額ノ割合ヲ以テ保險金額ヲ削減スベシ

保險金受取人ノ指定、變更及權利ノ讓渡

第二十九條 保險契約者又ハ其ノ承繼人ハ何時ニテモ保險金ヲ受取ルベキ者ヲ指定若クハ變更スルコトヲ得

第三十條 保險金ヲ受取ルベキモノ、指定若クハ變更ハ被保險者ノ同意ヲ表スル書面ヲ添ヘテ會社ニ通知シ保險証券ニ承認ノ裏書ヲ受ケベキモノトス

保險契約ニ依リテ生ジタル權利ノ讓渡亦前項ニ同ジ

保險証券ノ裏書、書換及再交付

第三十一條 保險証券ノ裏書、書換、再交付又ハ訂正ハ總テ之ヲ無料トス

利益配當

第三十二條 會社ハ毎事業年度末ニ於テ昭和十二年創設ノ普通養老保險ノ保險契約ニ屬スル收益ヲ別途ニ計算シ利益アルトキハ其ノ百分ノ七十五以上ヲ當該保險契約ニ對スル利益配當準備金トシテ積立ツベシ

每事業年度末ニ於ケル利益配當準備金(本項三條ニ依リ保險金額額)ハ次年度中ニ於テ保險契約締結ノ日ヨリ滿四年以上ヲ経過ス(キ)保險契約(第二十二條ニ依リ拂濟保險及第二十三條ニ對シ主務官廳ノ認可ヲ經タル方法ニ依リ計算シタル其ノ保險料積立金ニ比例シテ相當テ左ノ方法ニ依リ之ヲ分配スベシ但シ計算ノ都合ニ依リ其ノ一部ヲ其ノ年度内ニ拂込ミタル保險料ニ比例シテ相當テ之ヲ分配シ又ハ其ノ一部若クハ全部ヲ次年度ノ利益配當準備金ニ繰越スコトアルベシ

一、保險料拂込中ノ契約ニ對スル利益配當金ハ次年度中ニ於テ保險契約締結應當日ニ拂込ムベキ保險料ト相殺シ若シ保險料ヲ分割シテ拂込ム場合ニ於テハ其ノ分割拂込回数ニ應ジ之ヲ等分シ保險料拂込ノ都度其ノ保險料ト相殺ス但シ利益配當金力相殺スベキ保險料ヨリ大ナルトキハ其ノ差額ヲ又既ニ相殺スベカリシ保險料ノ拂込アリタルトキハ其ノ全部ヲ現金ニテ保險契約者ニ支拂フベシ

二、前條ノ相殺前準備金ノ支拂以外ノ事由ニ因リ消滅シタル契約ニ對シテハ利益配當金ヲ分配セザルモノトス

三、保險料拂込済ノ契約ニ對スル利益配當金ハ保險契約締結ノ際保險契約者ノ選定セラル左ノ方法ノ一ニ依リ之ヲ分配ス但シ次年度ノ保險契約締結應當日以前ニ保險金ノ支拂以外ノ事由ニ由リ消滅シタル契約ニ對シテハ當該利益配當金ハ分配ヲ爲サザルモノトス

前項ニ依ル貸付アル場合ニ於テ保險契約消滅ノ事由發生シタルトキハ其ノ返還期間ニ拘ラス會社ハ支拂フベキ金額ヨリ貸金及利息ヲ控除スベシ

年齢ノ計算及錯誤

第二十七條 被保險者ノ年齢ハ滿年ヲ以テ計算シ一年未滿ノ滿數アルトキハ六ヶ月以下ヲ切捨テ六ヶ月ヲ超ユルモノハ之ヲ一年トス
第二十八條 保險契約申込書ニ記載シタル被保險者ノ年齢ニ錯誤アリタル場合ニ於テハ左ノ方法ニ依リ處理スベシ
一、實際ノ年齢ガ保險契約ノ當時會社ノ保險料表ノ範圍外ナリシトキハ保險契約ハ之ヲ無効トシ既ニ拂込ミタル保險料ヲ保險契約者ニ拂戻スベシ但シ被保險者ガ保險契約ノ當時保險料表ニ掲ゲタル最低契約年齢ニ達セザリシ場合ニ於テ其ノ年齢ニ達シタル後錯誤ノ事實ヲ發見シタルトキハ其ノ年齢ニ達シタル日ニ於テ保險契約ヲ締結シタルモノト看做シ既ニ拂込ミタル保險料ハ其ノ契約ノ保險料ニ充當スベシ
二、錯誤ノ年齢ガ實際ノ年齢ヨリ多カリシトキハ將來ノ保險料ヲ更正シ且ツ保險料ノ差額ヲ保險契約者ニ拂戻スベシ但シ保險金支拂ノ事由發生後ニ於テハ保險金ト共ニ保險金ヲ受取ルベキ者ニ之ヲ支拂フベシ
三、錯誤ノ年齢ガ實際ノ年齢ヨリ少カリシトキハ將來ノ保險料ヲ更正シ保險料ノ不足額ニ年六分ノ複利ヲ附加シテ領收スベシ但シ保險金支拂ノ事由發生後ニ於テハ保險料不足額ノ割合ヲ以テ保險金額ヲ削減スベシ

第二十九條 保險契約者又ハ其ノ承繼人ハ何時ニテモ保險金ヲ受取ルベキ者ヲ指定若クハ變更スルコトヲ得
第三十條 保險金ヲ受取ルベキモノ、指定若クハ變更ハ被保險者ノ同意ヲ表スル書面ヲ添ヘ之ヲ會社ニ通知シ保險証券ニ承認ノ裏書ヲ受クベキモノトス
保險契約ニ依リテ生ジタル權利ノ讓渡亦前項ニ同ジ
保險証券ノ裏書、書換及再交附
第三十一條 保險証券ノ裏書、書換、再交附又ハ訂正ハ總テ之ヲ無料トス

第三十二條 會社ハ毎事業年度末ニ於テ昭和十二年創設ノ普通養老保險ノ保險契約ニ屬スル收益ヲ別途ニ計算シ剩餘アルトキハ其ノ百分ノ七十五以上ヲ當該保險契約ニ對スル利益配當準備金トシテ積立ツベシ
每事業年度末ニ於ケル利益配當準備金(本項三條ニ依リ積立タル金額)ハ次年度中ニ於テ保險契約締結ノ日ヨリ滿四年以上ヲ經過スヘキ保險契約(第二十一條ニ依リ積立タル金額)ニ對シ主務官廳ノ認可ヲ經タル方法ニ依リ計算シタル其ノ保險料積立金ニ比例シテ割當テ左ノ方法ニ依リ之ヲ分配スベシ但シ計算ノ都合ニ依リ其ノ一部ヲ其ノ年度内ニ拂込ミタル保險料ニ比例シテ割當テ之ヲ分配シ又ハ其ノ一部若クハ全部ヲ次年度ノ利益配當準備金ニ繰越スコトアルベシ
一、保險料拂込中ノ契約ニ對スル利益配當金ハ次年度中ニ於テ保險契約締結應當日ニ拂込ムベキ保險料ト相殺シ若シ保險料ヲ分割シテ拂込ム場合ニ於テハ其ノ分割拂込回数ニ應ジ之ヲ等分シ保險料拂込ノ都度其ノ保險料ト相殺ス但シ利益配當金カ相殺スベキ保險料ヨリ大ナルトキハ其ノ差額ヲ又既ニ相殺スベカリシ保險料ノ拂込アリタルトキハ其ノ全部ヲ現金ニテ保險契約者ニ支拂フベシ
二、前號ノ相殺前保險金ノ支拂以外ノ事由ニ因リ消滅シタル契約ニ對シテハ利益配當金ヲ分配セザルモノトス
三、保險料拂込済ノ契約ニ對スル利益配當金ハ保險契約締結ノ際保險契約者ノ選定セラル左ノ方法ノ一ニ依リ之ヲ分配ス但シ次年度ノ保險契約締結應當日以前ニ保險金ノ支拂以外ノ事由ニ由リ消滅シタル契約ニ對シテハ當該利益配當金ハ分配ヲ爲サザルモノトス
保險金ノ増額
利益配當金ハ次年度ノ保險契約締結應當日ニ於テ現金ニテ保險契約者ニ支拂フベシ
積立テ置キ保險料拂込済ノ日ヨリ起算シ五年毎ニ一時拂還保險料ニ抵替ヘ保險金ヲ増額スベシ
現金配當
利益配當金ハ次年度ノ保險契約締結應當日ニ於テ現金ニテ保險契約者ニ支拂フベシ

第三十三條 保險契約者、被保險者及保險金ヲ受取ルベキ者ハ前條ニ規定セル場合ノ外會社ノ利益配當ニ與カル權利ナキモノトス
第三十四條 保險金又ハ拂戻金ハ支拂義務發生ノ時ヨリ、現金ニテ支拂フ利益配當金ハ支拂ノ通知ヲ發シタル時ヨリ二年ヲ經過シタルトキハ會社ハ之ガ支拂ノ責ニ任ゼズ

第三十五條 保險金一千圓ニ對スル割賦金額表
(但シ一回ノ割賦金ガ割當以上ノ場合ニテラサレバ取換ハズ)

支拂方法	三年	五年	七年	十年	十五年
年賦	三、四八六	三、三九九	一、天〇〇	一、六八六	八、八八八
半年賦	一、七九二	一、〇七九	九、九六	天、五九	四、三三
三ヶ月賦	八、八三	五、三九	四、〇〇	三、九三二	三、三三
月賦	二、九一九	一、八二二	一、三三七	九、八三	七、一〇

每年利益配當附
普通養老保險普通保險約款

大同生命保險株式會社

總裁

副總裁

津嶋

特別融通整理部長殿

理事

特別融通整理部長

大阪支店長代



整理部受付
12.8.12

大同生命保險株式會社ハ本年創立三十五周年ニ相當リ候ニ付保險契約特

別利益配當準備金並ニ別段積立金ノ一部ヲ割キ記念配當ヲ爲ス豫定ニテ

本月十六日開催ノ定時株主總會ニ左記利益處分案ヲ付議スルコト、致度

キ趣ヲ以テ之カ承認方願出候

右ノ内保險契約者ニ對スル特別配當ハ同社信用ノ維持及ヒ向後ノ契約募

集上已ムヲ得サルモノナル趣ニ有之、又株主特別配當金其他モ同社業況

大の生名
本庄五三〇〇〇
株主六千株
也店同例
似有
五九七四株
特別配當
五、六三三株

五年目各ニ為ス豫定

ノ推移ニ鑑ミ強チ過當トモ謂ヒ難ク、且ツ廣岡一門ニテハ補償法特別融
通返済ノ一助トシテ株主特別配當金及ヒ役員特別賞與金中ヨリ可成ク多
額ノ入金ヲ致シ度キ覺悟ナル旨申出テ居レル次第モ有之右願出ノ趣差支
ナキモノト認メ承認致置候

尙同日ノ總會ニハ監査役祇園清次郎任期滿了ニ付改選ノ件ヲ付議シ同人
再選重任ノ豫定ナル趣ニ有之候

廣岡一門
此ノ内
大凡三四〇名
税金(増収分)
右及御報告候也
身引者
出資
二入
二入

本年度利息 2600
 積立金前 2400
 計 5000

均積立及俸給
 充額分 2476

社外分配
 使用 2523 (配者及責任使用分)
 5000

上記計算(正)合計/社外分配
 本年度利息及前年積立金

記

一、自昭和十一年七月一日
 至全十二年六月三十日 年度利益金

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

- 保險契約利益配當準備金
- 株主配當金(年八分)
- 役員賞與金
- 使用人養老積立金
- 保險契約特別利益配當準備金
- 別段積立金
- 次年度へ繰越
- 上記利益處分ヲナシタル後
- 保險契約特別利益配當準備金
- 別段積立金

二、六〇〇、八九九圓六二

四三一、五八四圓五八

二四〇〇〇圓 (前年卜口給)

一〇〇〇〇圓 ()

一五〇〇〇圓 ()

一、二〇〇〇〇圓 (前年給、三〇〇、〇〇〇)

五〇〇〇〇圓 () 六〇〇、〇〇〇

一九五三一五圓〇四

三、八〇〇、〇〇〇圓

三、三九〇、〇〇〇圓

ノ中ヨリ下記ノ支出ヲ爲スコト

(イ) 保險契約特別利益配當準備金ヨリ

創立三十五周年記念
保險契約特別配當金

一、五〇〇、〇〇〇圓

(ロ) 別段積立金ヨリ

創立三十五周年記念
株主其他特別分配金

九〇〇、〇〇〇圓

内譯

株主特別配當金

二〇〇、〇〇〇圓

役員特別賞與金

一〇〇、〇〇〇圓

社員特別慰勞金

三〇〇、〇〇〇圓

代理店功勞表彰資金

三〇〇、〇〇〇圓

創立紀念特別配當並參考原教比較

	二十五周年 (昭和2年)	三十周年 (昭和7年)	三十五周年 (昭和12年)
保險契約特別配當金	千円 1,000	千円 1,200	千円 1,500
株主特別配當金	200	0	200
役員特別賞典金	70	0	100
社員特別慰勞金	200	130	300
代理店功勞表彰賞金	200	155	300
計	1,870	1,485	2,400
年度末現在契約高	227,847	266,451	416,604
資產總額	49,907	38,604 292,847	150,153 292,847
特別利益配當準備金及別段積立金	1,300	700	5,490
純利益金	1,946	937	3,530
株主配當金	24	24	24
役員賞典金(普通)	70	60	100
社員數	817 ^(人)	1,338 ^(人)	4,538 ^(人)
社員一年俸給	590 ^{千円}	673 ^{千円}	1,274 ^{千円}
代理店數	1,396 ^(店)	1,527 ^(店)	2,231 ^(店)
代理店轉讓契約高	105,045	213,990	333,992

昭和十二年八月十六日

大阪支店 長代

整理部受付
12.8.17

特別融通整理部長殿

特別融通整理部長



大同生命保險株式會社ニ於テハ本日定時株主總會ヲ開催シ別紙議案ヲ付
議致候處左記ノ通り決定致候間御承知相成度此段及御報告候也

記

- 一、自昭和十一年七月一日年度決算 承認
- 至同十二年六月三十日
- 一、右年度利益處分案 可決
- 一、創立三十五周年記念配當ノ件 可決
- 分配方法ハ社長一任ノコト
- 一、監査役改選ノ件 祇園清次郎再選重任

18

會議ノ目的タル事項

第一、自昭和十二年七月一日年度事業報告書、財産目錄、貸借對照表並ニ損益計算書
至同十二年六月三十日承認ノ件

第二、自昭和十一年七月一日年度利益處分ニ關スル決議ノ件
至同十二年六月三十日

第三、保險契約特別利益配當準備金並ニ別段積立金ノ一部ヲ割キ創立三十五周年記念配
當ヲナスコトヲ決議スル件

第四、監査役祇園清次郎氏任期滿了ニ付改選ノ件

以 上

第拾五回定時株主總會附議諸表

大同生命保險株式會社
第三十五回決算報告

(自昭和十一年七月一日
至昭和十一年六月三十日)

◎事業成績一覽表

項目	件數	金額
年始現在契約	二〇五六四五	三五五八三〇、二四五〇〇〇
新契約	六八九七一	九二七八九二〇〇〇〇〇
其他增加	六八二	七九一、一五〇、〇〇〇
保險金額減少	七三六七	六八二、六八二、五〇〇〇
其他事項因消滅	二〇、二〇一	二五〇、二一九〇、〇〇〇〇
保險金額減少	(九〇九)	九五八、六二九、〇〇〇
年末現在契約	三四七七三〇	四一六、六〇四、二四一、〇〇〇
純增加契約	四二、〇八五	六〇、七七三、九九六、〇〇〇

年始支拂備金	五八二、二八〇、五八〇
年始責任準備金	六九、九五二、〇三四、五三〇
配当準備金	八八〇、二五四、六九八〇
收入諸利息	一六、五四一、二〇二、六八〇
支拂保險金	五、二二九、九一八、一〇〇
支拂普通養老保險金	六八、一六二、五〇〇
支拂特別養老保險金	五、一三五、五三三、三五〇
支拂特別養老保險金	七四一、八七一、六四〇
支拂特別養老保險金	七二九、六八三、四三〇
支拂特別養老保險金	四〇、二四〇、九一〇、九〇
支拂特別養老保險金	五一七、二九三、二四〇
年末支拂備金	七六、二七八、八九八、六〇〇
年末責任準備金	八九八、八七三、七五一〇
年末保險契約利益配当	

◎ 貸借對照表

昭和十二年六月三十日

資產之部		負債之部	
現金	一七九	株	三〇〇,〇〇〇
郵便振替貯金	四五,三三七	法定準備金	三〇〇,〇〇〇
銀行預金	三七〇,一八六八	責任準備金	七六,二七八八
貸付金	三,八八八,一八九	保險契約利益	八,九八八,七三七
有價証券	四〇,〇八五三八	保險契約特別利益	二六〇,〇〇〇
信託有價証券	八六,九七,四六二	特別利益	一〇,七七五
不動產	八八,四七,二〇〇	支拂準備金	五,一七,二九三
什器	二一八,五〇六	別段積立金	二八,九〇,〇〇〇
代理店貸	七,六三,七六	社員養老積立金	九,八七,三七
代理店金	五,六九,七一	借	五,二六三
返賜金	一〇,九〇七	社員自元保証金	三三,二六八
返賜定	九四〇	未經過利息	一七,六二,二六
合計	九,五二七,六〇六	合計	九,五二七,六〇六

◎ 損益計算書

收入之部		支出之部	
前年度繰越金	一八,一六〇	保險金	六八,一六二
利息	六九,九五〇	保險金(別段積立)	一,二七三
責任準備金	九一,三二四	解約返戻金	七,二九六
保險契約利益	一,二七,一六	普通養老保險契約利益	五,一三五
支拂準備金	五八,二二八	特別養老保險契約利益	七,四一八
保險料	一六,五四二	特別利益	一,九四一
保險金(別段積立)	四,八四八	義捐金	六,一七三
諸利息	五,三九九	事業費	二八,〇三三
財產償還益	一,一八七	不動產管理費	四〇,二四〇
財產償却益	一,二八一	財產評價損	八,四二一
變賣養老金	一〇,一八六	退職養老金	二七,六四五
繰上段積立金	七〇,〇〇〇	共同生命保險金	一〇,一八六
		雜損	七,〇〇〇
			一五,五三三
合計	九,五二七,六〇六	合計	九,五二七,六〇六

雜 益

合 計	10,560,740	600	76,278,888	600
合 計	10,560,740	600	89,887,377	510
合 計	10,560,740	600	10,775	460
合 計	10,560,740	600	51,729,377	240
合 計	10,560,740	600	99,455,174	980

差引利益金貳百六拾萬八百九拾九百六拾貳錢

備考

本期別途計算依り特別養老保險、利益中より同種類ニ對スル利益配当準備金トシテ
 壹拾陸萬貳千六百九拾六円拾貳錢ヲ次年度繰入金ニ繰入ルヲ以テ之ヲ前記利益金ニ
 加算スル左通リ參百七拾陸萬貳千五百九拾五円七拾參錢トナル
 前記利益金 貳百六拾萬八百九拾九百六拾貳錢
 特別養老保險利益配当準備金繰入 壹拾陸萬貳千六百九拾六円拾貳錢
 合 計 參百七拾陸萬貳千五百九拾五円七拾參錢

右處分案

- 普通養老保險契約利益配当準備金 四拾參萬壹千五百八拾四円五拾八錢
- 保險契約特別利益配当準備金 百貳拾萬円
- 別段積立金 五拾萬円
- 株主配当金(年八朱) 貳萬四千円

- 役員賞與金 拾萬円
- 社員養老積立金 拾五萬円
- 次年度繰越 拾九萬五千參百拾五円四錢

◎前叙通り年度決算ヲ終リシ利益ヲ處分シタル後ニ於テ本當社ノ現狀左ノ如シ

- 一 昭和拾貳年六月末現在保險契約高 四億壹千六百六拾萬四千貳百四拾壹円
- 一 昭和拾貳年六月末現在諸準備金 九千參百九拾六萬六千拾六円參拾九錢

内 詳

- 法定準備金 參拾萬円
 - 責任準備金 七千六百貳拾七萬八千八百九拾八円六拾錢
 - 保險契約利益配当準備金 九百四拾參萬壹千九拾七円五拾五錢
 - 保險契約特別利益配当準備金 參百八拾萬円
 - 別段積立金 參百參拾九萬円
 - 支拂準備金 五拾壹萬七千貳百九拾參円貳拾四錢
 - 社員養老積立金 貳拾四萬八千七百貳拾七円
- 一 昭和拾貳年六月末現在有價証券合、益帳簿價格ノ市價ニ對シテ差益()
 壹千貳百貳拾萬四千七百貳拾七円(帳簿價格ノ市價ニ對シテ差益)